

經營学部

【経営学部経営学科科目一覧を見る時の注意事項】

科目一覧を見る前に必ず読んで下さい。

年次に「1」または「2」とあるものは、2000年度以降入学の学生の指定年次に対応。それ以外（「3」以上の表記があるもの）は、1999年度以前入学の学生の指定年次に対応。1999年度以前入学の学生が、年次の表記「1」または「2」の科目を履修することは、履修不可科目を除き可能。（備考欄参照）

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
必修科目 （左記は2000年度以降入学の学生に対応。1999年度以前入学の学生は、備考欄を参照。〈営：経営コース／国：国際コース〉）						
711	経営演習 I	通年	4	3	藤井 達敬	営：選必 国：履修不可
711	経営演習 I	通年	4	3	高橋 弘一	

表内の**必修科目**、**選択必修科目**、**選択科目**、**自由科目**などの科目分類の表記は、2000年度以降入学の学生に対応している。1999年度以前入学の学生は、備考欄の科目分類を参照すること。
なお、1999年度以前入学の学生のみ履修できる科目群は、科目一覧の末尾にある。

1999年度以前入学の学生は、備考欄の科目分類表記を参照して授業登録をすること。

上表の例は、

「**経営コースは、選択必修科目として履修できるが、国際コースは、履修不可の科目である**」

という意味。

科目一覧中の略語の正式名称は以下の通り。

営→経営コース	国→国際コース
必	→ 必修科目
選必	→ 選択必修科目
選・A	→ 選択科目（A群）
選・B	→ 選択科目（B群）
選	→ 選択科目
自由	→ 自由科目
随意	→ 随意科目

- * 科目一覧は、科目コード順にならんでいる。講義概要も科目コード順にならんでいるので講義概要の索引として用いるとよい。
- * 1999年度以前入学の学生は、科目分類別になんどの科目があるか調べたい時（例：選択必修科目はどんな科目があるか）は、履修要項（別冊）を参照すること。
- * 1999年度以前入学の学生は、科目名称が以前と変更になっているものがあるので、新旧カリキュラム対照表をよく見ること。

経営学部経営学科科目一覧

1999年度以前入学者は、科目名称が以前と異なるものがあるので、新旧カリキュラム対照表を参照すること。

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考	
必修科目 (左記は2000年度以降入学の学生に対応。1999年度以前入学の学生は、備考欄を参照。〈営：経営コース/国：国際コース〉)							
71101	経営演習 I	通年	4	3	藤井 達敬	営：選必 国：履修不可	
71102	経営演習 I	通年	4	3	高橋 弘一		
71103	経営演習 I	通年	4	3	飯田 穆		
71104	経営演習 I	通年	4	3	村本 正生		
71105	経営演習 I	通年	4	3	斎藤 孝一		
71106	経営演習 I	通年	4	3	薫 祥哲		
71107	経営演習 I	通年	4	3	湯本 祐司		
71108	経営演習 I	通年	4	3	徳永 俊史		
71109	経営演習 I	通年	4	3	高橋 弘司		
71121	経営演習 II	通年	4	3	藤井 達敬		
71122	経営演習 II	通年	4	4	高橋 弘一		
71123	経営演習 II	通年	4	4	藤原 道夫		
71124	経営演習 II	通年	4	4	飯田 穆		
71125	経営演習 II	通年	4	4	村本 正生		
71127	経営演習 II	通年	4	4	薫 祥哲		
71128	経営演習 II	通年	4	4	湯本 祐司		
71129	経営演習 II	通年	4	4	徳永 俊史		
選択必修科目 (左記は2000年度以降入学の学生に対応。1999年度以前入学の学生は、備考欄を参照。〈営：経営コース/国：国際コース〉)							
71401	基礎演習 (情報基礎)	春学期	2	1	後藤 剛史		営：履修不可 国：履修不可
71402	基礎演習 (情報基礎)	春学期	2	1	薫 祥哲		
71403	基礎演習 (情報基礎)	春学期	2	1	徳永 俊史		
71404	基礎演習 (情報基礎)	春学期	2	1	湯本 祐司		
71405	基礎演習 (情報基礎)	春学期	2	1	安藤 史江		
71406	基礎演習 (情報基礎)	春学期	2	1	高橋 弘司		
71411	基礎演習 (外書講読) A	秋学期	2	1	後藤 剛史	営：選必 国：必	
71412	基礎演習 (外書講読) A	秋学期	2	1	薫 祥哲		
71413	基礎演習 (外書講読) A	秋学期	2	1	高橋 弘一		
71414	基礎演習 (外書講読) A	秋学期	2	1	飯田 穆		

経営学部

経営学部 経営学科

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
71415	基礎演習(外書講読)A	秋学期	2	1	秦 劼	営：選必 国：必
71416	基礎演習(外書講読)A	秋学期	2	1	安藤 史江	
71419	ビジネス英語ⅠA1	春学期	1	1	CATTO Sarah W.	営：履修不可 国：必
71420	ビジネス英語ⅠA2	春学期	1	1	LENIHAN John	
71421	ビジネス英語ⅠA3	春学期	1	1	FENWICK Mark	
71422	ビジネス英語ⅠB1	春学期	1	1	MASON Paul	
71423	ビジネス英語ⅠB2	春学期	1	1	BINFORD Paul	
71424	ビジネス英語ⅠB3	春学期	1	1	YASUDA Karen	
71425	ビジネス英語ⅡA1	秋学期	1	1	CATTO Sarah W.	
71426	ビジネス英語ⅡA2	秋学期	1	1	LENIHAN John	
71427	ビジネス英語ⅡA3	秋学期	1	1	FENWICK Mark	
71428	ビジネス英語ⅡB1	秋学期	1	1	MASON Paul	
71429	ビジネス英語ⅡB2	秋学期	1	1	BINFORD Paul	
71430	ビジネス英語ⅡB3	秋学期	1	1	YASUDA Karen	
71431	商業簿記Ⅰ1	春学期	2	1	亀井 孝文	
71432	商業簿記Ⅰ2	春学期	2	1	斎藤 孝一	
71433	商業簿記Ⅱ1	秋学期	2	1	亀井 孝文	
71434	商業簿記Ⅱ2	秋学期	2	1	斎藤 孝一	
71436	情報処理A1	秋学期	2	1	村本 正生	
71437	情報処理A2	秋学期	2	1	村本 正生	
71441	経済原論Ⅰ1	春学期	2	1	多和田 眞	営：選必 国：自由
71442	経済原論Ⅰ2	春学期	2	1	成生 達彦	
71446	経済原論Ⅱ1	秋学期	2	1	多和田 眞	
71447	経済原論Ⅱ2	秋学期	2	1	成生 達彦	
71451	数学Ⅰ1	春学期	2	1	春藤 修二	営：選必 国：自由
71452	数学Ⅰ2	春学期	2	1	春藤 修二	
71453	数学Ⅰ3	春学期	2	1	春藤 修二	
71456	数学Ⅱ1	秋学期	2	1	春藤 修二	
71457	数学Ⅱ2	秋学期	2	1	春藤 修二	
71458	数学Ⅱ3	秋学期	2	1	春藤 修二	

科目 コード	授 業 科 目	開講形態	単 位	年 次	担 当 者	備 考
71461	経営学総論 A 1 (1年次)	春学期	2	1	藤 井 達 敬	営・国：履修不可
71462	経営学総論 A 2 (2年次以上)	春学期	2	2~4	小 橋 勉	営：選・A／国：選必
71466	経営学総論 B 1 (1年次)	秋学期	2	1	藤 井 達 敬	営・国：履修不可
71467	経営学総論 B 2 (2年次以上)	秋学期	2	2~4	小 橋 勉	営：選・A／国：選必
71471	会計原理 I 1	春学期	2	1	藤 井 達 敬	営：選必 国：選必
71472	会計原理 I 2	春学期	2	1	高 橋 弘 一	
71476	会計原理 II 1	秋学期	2	1	藤 井 達 敬	
71477	会計原理 II 2	秋学期	2	1	高 橋 弘 一	
71481	基礎演習 (外書講読) B	春学期	2	2	安 藤 史 江	営：選必 国：必
71482	基礎演習 (外書講読) B	春学期	2	2	後 藤 剛 史	
71483	基礎演習 (外書講読) B	春学期	2	2	高 橋 弘 司	
71484	基礎演習 (外書講読) B	春学期	2	2	飯 田 穆	
71485	基礎演習 (外書講読) B	春学期	2	2	斎 藤 孝 一	
71486	基礎演習 (外書講読) B	春学期	2	2	秦 劫	
71491	基礎演習 (プレゼминаール)	秋学期	2	2	高 橋 弘 一	営：選必 国：履修不可
71492	基礎演習 (プレゼминаール)	秋学期	2	2	徳 永 俊 史	
71493	基礎演習 (プレゼминаール)	秋学期	2	2	湯 本 祐 司	
71494	基礎演習 (プレゼминаール)	秋学期	2	2	秦 劫	
71495	基礎演習 (プレゼминаール)	秋学期	2	2	安 藤 史 江	
71496	基礎演習 (プレゼминаール)	秋学期	2	2	高 橋 弘 司	
71497	基礎演習 (プレゼминаール)	秋学期	2	2	後 藤 剛 史	
71498	ビジネス英語 I A4	春学期	1	2	BINFORD Paul	
71499	ビジネス英語 I B4	春学期	1	2	FENWICK Mark	
71500	ビジネス英語 II A4	秋学期	1	2	BINFORD Paul	営：履修不可 国：必
71501	ビジネス英語 II B4	秋学期	1	2	FENWICK Mark	
71502	ビジネス英語 III A1	春学期	1	2	MASON Paul	
71503	ビジネス英語 III A2	春学期	1	2	CATTO Sarah W.	
71504	ビジネス英語 III B1	春学期	1	2	BINFORD Paul	
71505	ビジネス英語 III B2	春学期	1	2	MASON Paul	
71506	ビジネス英語 IV A1	秋学期	1	2	MASON Paul	

経営学部 経営学科

科目 コード	授 業 科 目	開講形態	単 位	年 次	担 当 者	備 考
71507	ビジネス英語Ⅳ A2	秋学期	1	2	CATTO Sarah W.	営：履修不可 国：必
71508	ビジネス英語Ⅳ B1	秋学期	1	2	BINFORD Paul	
71509	ビジネス英語Ⅳ B2	秋学期	1	2	MASON Paul	
71511	工業簿記Ⅰ	春学期	2	2	亀井 孝文	営：履修不可 国：履修不可
71513	工業簿記Ⅱ	秋学期	2	2	亀井 孝文	
71516	情報処理B 1	春学期	2	2	村本 正生	
71517	情報処理B 2	春学期	2	2	村本 正生	
71521	経営数学	春学期	2	2	秦 劫	営：選・B／国：自由
71531	統計学Ⅰ 1	春学期	2	2	木村 美善	営：選必 国：選
71532	統計学Ⅰ 2	春学期	2	2	松田 眞一	
71536	統計学Ⅱ 1	秋学期	2	2	木村 美善	
71537	統計学Ⅱ 2	秋学期	2	2	松田 眞一	
71541	経営労務論A	春学期	2	2	高橋 弘司	営：選・A 国：選必
71543	経営労務論B	秋学期	2	2	高橋 弘司	
71546	経営財務論A	春学期	2	2	徳永 俊史	営：選・A 国：履修不可
71548	経営財務論B	秋学期	2	2	徳永 俊史	
71551	マーケティング論A	春学期	2	2	中田 善啓	営：選・A 国：選必
71553	マーケティング論B	秋学期	2	2	中田 善啓	
71561	経営統計学	秋学期	2	2	安藤 雅和	営：履修不可／国：履修不可
71571	データ解析（組織・労務）	秋学期	2	3・4	高橋 弘司	営：選・B 国：選
71572	データ解析（財務）1	秋学期	2	3・4	徳永 俊史	
71573	データ解析（財務）2[国際コース]	春学期	2	3・4	BREMER Marc	
71575	データ解析（マーケティング）	秋学期	2	3・4	湯本 祐司	
71577	データ解析（会計）	秋学期	2	3・4	斎藤 孝一	
71579	データ解析（企業）	春学期	2	3・4	薫 祥哲	
選択科目 （左記は2000年度以降入学の学生に対応。1999年度以前入学の学生は、備考欄を参照。〈営：経営コース／国：国際コース〉）						
71601	経営組織論A	春学期	2	2~4	安藤 史江	営：選・A 国：自由
71603	経営組織論B	秋学期	2	2~4	安藤 史江	
71605	資本市場論A	不開講	2	2~4		
71607	資本市場論B	不開講	2	2~4		

科目 コード	授 業 科 目	開講形態	単 位	年 次	担 当 者	備 考
71609	流通論 A	春学期	2	2~4	成 生 達 彦	営：選・A 国：自由
71611	流通論 B	秋学期	2	2~4	成 生 達 彦	
71613	財務会計論 A	春学期	2	2~4	藤 井 達 敬	
71615	財務会計論 B	秋学期	2	2~4	藤 井 達 敬	
71617	株式会社社会計論 A	春学期	2	2~4	高 橋 弘 一	
71619	株式会社社会計論 B	秋学期	2	2~4	高 橋 弘 一	
71621	原価計算論 A	不 開 講	2	2~4		営：選・B 国：自由
71623	原価計算論 B	不 開 講	2	2~4		
71631	経営史 A	不 開 講	2	2~4		営：選・A 国：自由
71633	経営史 B	不 開 講	2	2~4		
71635	企業論 A	春学期	2	2~4	後 藤 剛 史	営：選・B 国：自由
71637	企業論 B	秋学期	2	2~4	後 藤 剛 史	
71639	経営管理論 A	春学期	2	2~4	小 橋 勉	営：選・A 国：自由
71641	経営管理論 B	秋学期	2	2~4	小 橋 勉	
71643	経営環境論 A	春学期	2	2~4	薫 祥 哲	営：選・B 国：選必(3年次より履修可)
71645	経営環境論 B	秋学期	2	2~4	薫 祥 哲	
71647	経営情報論 A	不 開 講	2	2~4		営：選・B 国：自由
71649	経営情報論 B	不 開 講	2	2~4		
71651	経営倫理	不 開 講	2	2~4		営：選・B / 国：選必
71671	労使関係論 A	春学期	2	3・4	藤 原 道 夫	営：選・B 国：自由
71673	労使関係論 B	秋学期	2	3・4	藤 原 道 夫	
71675	組織心理学 A	春学期	2	3・4	高 橋 潔	
71677	組織心理学 B	秋学期	2	3・4	高 橋 潔	
71679	国際人事管理論 A	不 開 講	2	3・4		営：選・B 国：自由
71681	国際人事管理論 B	不 開 講	2	3・4		
71683	投資論 A	春学期	2	3・4	秦 劫	
71685	投資論 B	秋学期	2	3・4	秦 劫	
71687	国際財務論 A	不 開 講	2	3・4		
71689	国際財務論 B	不 開 講	2	3・4		
71691	金融派生商品論	不 開 講	2	3・4		営：自由 / 国：自由

経営学部 経営学科

科目 コード	授 業 科 目	開講形態	単 位	年 次	担 当 者	備 考
71693	マーケティング・マネジメントA	春学期	2	3・4	湯 本 祐 司	} 営：選・B 国：自由
71695	マーケティング・マネジメントB	秋学期	2	3・4	湯 本 祐 司	
71697	市場調査論A	不 開 講	2	3・4		} 営：選・B 国：自由
71699	市場調査論B	不 開 講	2	3・4		
71701	管理会計論A	春学期	2	3・4	斎 藤 孝 一	
71703	管理会計論B	秋学期	2	3・4	斎 藤 孝 一	
71705	監査論A	不 開 講	2	3・4		
71707	監査論B	不 開 講	2	3・4		
71709	経営分析論A	春学期	2	3・4	斎 藤 孝 一	
71711	経営分析論B	秋学期	2	3・4	斎 藤 孝 一	
71713	税務会計論A	春学期	2	3・4	藤 井 達 敬	
71715	税務会計論B	秋学期	2	3・4	藤 井 達 敬	
71721	グローバル・ビジネス論A	不 開 講	2	3・4		} 営：自由 国：自由
71723	グローバル・ビジネス論B	不 開 講	2	3・4		
71725	経営戦略論A	春学期	2	3・4	姜 秉 国	
71727	経営戦略論B	秋学期	2	3・4	姜 秉 国	
71729	国際比較経営論A	不 開 講	2	3・4		
71731	国際比較経営論B	不 開 講	2	3・4		
71733	オペレーションズ・リサーチA	春学期	2	3・4	穴 太 克 則	
71735	オペレーションズ・リサーチB	夏季集中	2	3・4	穴 太 克 則	
71741	英語ビジネスディスカッションA	不 開 講	2	3・4		
71744	英語ビジネス・ディスカッションB	不 開 講	2	3・4		
71747	英語ビジネス論文作成法A	不 開 講	2	3・4		} 営：自由 国：自由
71750	英語ビジネス論文作成法B	不 開 講	2	3・4		
71791	現代産業論（総合商社論）1	春学期	2	3・4	松 井 清 治	
71792	現代産業論（総合商社論）2	秋学期	2	3・4	松 井 清 治	
71794	現代産業論（都市銀行論）1	春学期	2	3・4	高 木 夏 樹	
71795	現代産業論（都市銀行論）2	秋学期	2	3・4	高 木 夏 樹	
71797	現代産業論（損害保険論）1	春学期	2	3・4	清 登 緑 郎	
71798	現代産業論（損害保険論）2	秋学期	2	3・4	清 登 緑 郎	

科目 コード	授 業 科 目	開講形態	単 位	年 次	担 当 者	備 考	
71800	現代産業論(電子・電機産業論)1	春学期	2	3・4	三 田 良 治	営：自由 国：自由	
71801	現代産業論(電子・電機産業論)2	秋学期	2	3・4	三 田 良 治		
71803	現代産業論(自動車産業論)1	春学期	2	3・4	願 興 寺 皓 之		
71804	現代産業論(自動車産業論)2	秋学期	2	3・4	願 興 寺 皓 之		
71806	現代産業論(起業論)1	春学期	2	3・4	竹村博文・上野允久		
71807	現代産業論(起業論)2	秋学期	2	3・4	竹村博文・上野允久		
71809	現代産業論(先輩経営者と語る)1	春学期	2	3・4	藤 井 達 敬		
71810	現代産業論(先輩経営者と語る)2	秋学期	2	3・4	藤 井 達 敬		
71821	職業指導A		2	3・4			経営労務論Aで充当
71823	職業指導B		2	3・4			経営労務論Bで充当
71831	経営学特殊講義A	不開講	2				
71833	経営学特殊講義B	不開講	2				
51735	金融論Ⅰ	春学期	2	3・4	荒 井 好 和	経済学部開講科目 営：自由 国：自由	
51737	金融論Ⅱ	秋学期	2	3・4	荒 井 好 和		
51765	国際経済学Ⅰ	春学期	2	3・4	山 田 正 次		
51767	国際経済学Ⅱ	秋学期	2	3・4	山 田 正 次		
51751	産業組織論A	秋学期	2	3・4	上 田 薫		
51753	産業組織論B	秋学期	2	3・4	上 田 薫		
51851	商法Ⅰ	春学期	2	2~4	田 中 裕 明		
51855	商法Ⅱ	秋学期	2	2~4	田 中 裕 明		
51741	労働経済学Ⅰ	春学期	2	3・4	岸 智 子		
51743	労働経済学Ⅱ	秋学期	2	3・4	岸 智 子		
51841	民法Ⅰ	春学期	2	2~4	松 倉 耕 作	経済学部開講科目 営：自由 国：自由	
51845	民法Ⅱ	秋学期	2	2~4	松 倉 耕 作		
51871	労働法Ⅰ	春学期	2	3・4	唐 津 博		
51875	労働法Ⅱ	秋学期	2	3・4	唐 津 博		
51861	経済法Ⅰ	春学期	2	3・4	田 中 裕 明		
51865	経済法Ⅱ	秋学期	2	3・4	田 中 裕 明		
51881	行政法Ⅰ	春学期	2	3・4	栗 本 雅 和		
51885	行政法Ⅱ	秋学期	2	3・4	栗 本 雅 和		

経営学部 経営学科

科目 コード	授 業 科 目	開講形態	単 位	年 次	担 当 者	備 考
自由科目						
71841	英語ビジネス論文作成指導1	秋学期	2	4	BINFORD Paul	営：履修不可 国：選
71842	英語ビジネス論文作成指導2	秋学期	2	4	BREMER Marc	
71843	英語ビジネス論文作成指導3	秋学期	2	4	IAQUINTO Anthony	
71844	英語ビジネス論文作成指導4	秋学期	2	4	FENWICK Mark	
71845	英語ビジネス論文作成指導5	秋学期	2	4	TANNER Paul	
09320	商業科教育法A	夏期集中	2	3	加藤 國太郎	営：随意 国：随意
09325	商業科教育法B	夏期集中	2	3	加藤 國太郎	
経営コース用 (1999年度以前入学の学生に対する旧カリキュラム開講科目)						
71851	外書講読	春学期	2	3	高橋 弘一	営：選必／国：履修不可
国際コース用 (1999年度以前入学の学生に対する旧カリキュラム開講科目)						
71911	国際ビジネス論Ⅱ	通 年	4	3	山田 正次	営：自由 国：必
71913	国際ビジネス論Ⅲ	夏期集中 秋学期	4	3	井上 詔三	
71916	英語Ⅲ（論文作成法）1	春学期	4	3	YASUDA Karen	営：履修不可 国：必
71917	英語Ⅲ（論文作成法）2	秋学期	4	3	YASUDA Karen	
71918	英語Ⅲ（論文作成法）3	春学期	4	3	HOWREY John	
71919	英語Ⅲ（論文作成法）4	秋学期	4	3	HOWREY John	
71921	テーマ・ディスカッション1	春学期	4	3	MASON Paul	
71922	テーマ・ディスカッション2	秋学期	4	3	MASON Paul	
71923	テーマ・ディスカッション3	春学期	4	3	CATTO Sarah W.	
71924	テーマ・ディスカッション4	秋学期	4	3	CATTO Sarah W.	
71926	国際経営基礎研究1	春学期	2	3	大津 誠	
71927	国際経営基礎研究2	秋学期	2	3	大津 誠	
71931	国際経営研究1	通 年	4	4	大津 誠	
71932	国際経営研究2	通 年	4	4	井上 詔三	
71933	国際経営研究3	通 年	4	4	加藤 英明	
71934	国際経営研究4	通 年	4	4	BREMER Marc	
71935	国際経営研究5	通 年	4	4	IAQUINTO Anthony	
71945	北米における経営	夏季集中	4	3・4	辻 正次	営：自由／国：選必
71947	アジアにおける経営	不開講	4	3・4		

科目 コード	授 業 科 目	開講形態	単 位	年 次	担 当 者	備 考
71953	経営財務論 A 2	春 学 期	4	3・4	BREMER Marc	営：履修不可／国：選必
71955	国際人事管理論	春 学 期 夏 季 集 中	4	3・4	井 上 詔 三	営：自由／国：選必
71957	国際財務論 B 2	秋 学 期	4	3・4	BREMER Marc	営：履修不可／国：選必
71959	日本の経営	秋 学 期	4	3・4	BRYER Philip	営：自由／国：選必
71961	国際経営戦略論	不 開 講	4	3・4		
71963	国際マーケティング論	秋 学 期	4	3・4	IAQUINTO Anthony	営：自由／国：選必
71971	ビジネス英語 A 1	春 学 期	2	3・4	FENWICK Mark	営：自由 国：選
71972	ビジネス英語 A 2	春 学 期	2	3・4	PETERSEN Scott	
71973	ビジネス英語 B 1	秋 学 期	2	3・4	FENWICK Mark	
71974	ビジネス英語 B 2	秋 学 期	2	3・4	PETERSEN Scott	
71981	時事英語 A	春 学 期	2	3・4	PETERSEN Scott	
71982	時事英語 B	春 学 期	2	3・4	TANNER Paul	
71983	時事英語 C	春 学 期	2	3・4	FENWICK Mark	
71984	時事英語 D	春 学 期	2	3・4	BINFORD Paul	
71985	時事英語 E	秋 学 期	2	3・4	PETERSEN Scott	
71986	時事英語 F	秋 学 期	2	3・4	TANNER Paul	
71987	時事英語 G	秋 学 期	2	3・4	FENWICK Mark	

經 營 学 部

經營学科

【経営学部経営学科講義概要を見る時の注意事項】

講義概要を見る前に必ず読んで下さい。

年次に「1」または「2」とあるものは、2000年度以降入学の学生の指定年次に対応。それ以外（「3」以上の表記があるもの）は、1999年度以前入学の学生の指定年次に対応。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71441 71446	経済原論Ⅰ・Ⅱ	選必	春学期 秋学期	各2	1	多和田 眞
他の科目との関連						他学科履修

年次欄に「1」または「2」とある場合、2000年度以降入学の学生対象の科目分類を表記。それ以外（「3」以上の表記があるもの）は、1999年度以前入学の学生対象の科目分類を表記。1999年度以前入学の学生が、年次の表記「1」または「2」の科目を履修する場合、科目一覧の備考欄を参照し、履修可能かどうか確認すること。科目一覧中の略語の正式名称は以下の通り。

営→ 経営コース 国→ 国際コース
 必 → 必修科目
 選必 → 選択必修科目
 選・A → 選択科目（A群）
 選・B → 選択科目（B群）
 選 → 選択科目
 自由 → 自由科目

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71101	経営演習Ⅰ	営:選 国:不可	通年	4	3	藤井 達敬	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 財務会計論

【講義内容】 春学期では、2年次までに学んできた経営学総論、会計原理等で習得した知識を総合的に復習することに努め、現代社会における企業の役割、機能から始めて、企業活動の諸側面に焦点をあてて理解を深める。秋学期では、春学期で学んだ知識を基礎に会計学の中でも会計原則論とよばれる領域に焦点をあてて勉強する。特に日本の会計原則の形成に大きな影響を与えたアメリカの会計原則の形成過程から始めて、日本における会計原則の形成過程について勉強する。
なお、年間を通じてサブゼミナールを実施し、そこでは会計関連法規にもとづいた財務諸表の作成演習を行う。夏には2泊3日程度の合宿も実施する。

【講義計画】 春学期では松田修一著、『会社の読み方入門』日本経済新聞社をテキストに、1. 会社の成立、2. 会社の組織、3. 会社の経営手法、4. トップマネジメントの機能について学ぶとともに、企業会計制度が会社でどのように運用されているかを学ぶ。
秋学期ではM. Moonitz著“Obtaining Agreement on Standards in Accounting Profession”AAAをテキストにアメリカにおける企業会計原則の形成過程に関する講読会を行う。その中で、日本における企業会計原則の形成過程についても学習する。
年間を通じて行うリブゼミでは財務諸表規則、計算書類規則、企業会計原則等の会計関連法規にもとづいて、財務諸表の作成演習を練習問題を解く形式で訓練する。

【評価方法】 演習ではサブゼミも含めて出席を重視し、レポートの提出で評価する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71102	経営演習Ⅰ	営:選 国:不可	通年	4	3	高橋 弘一	
他の科目との関連	3・4年次に他の会計学主要科目も必ず履修すること。					他学科履修	不可

【副題】 会計理論および企業のディスクロージャー制度の研究

【講義内容】 本演習の課題は次の2つである。
1. 財務会計の理論と制度に関する学習および研究
2. 有価証券報告書を用いたわが国大企業の経営分析

【講義計画】 上記課題1に関しては、適宜論題を選定し、順次、報告担当者を指名する。報告担当者には報告用のレジュメの作成・配布が、他の学生にはレポートの提出が求められる。論題を例示すれば、次の通りである。
・財産法と損益法
・動態論と静態論
・発生主義会計の理論構造と資産評価
・商法上の「公正なる会計慣行」と「企業会計原則」
・継続性の原則の意義と会計処理の原則および手続きの変更
・低価法の論理と同法における時価の意義
・負債概念と条件付債務
・当期業績主義・包括主義と「企業会計原則」の損益計算書
課題2に関しては、各自選定した上場会社（数社の比較を含む）について、財務諸表分析を中心に、有価証券報告書を用いた経営分析を試みてもらう。この第2の課題は各自の自主研究とするが、適宜、授業の中で、作業の中間報告と分析結果の報告をしてもらう予定。

【評価方法】 報告の際のプレゼンテーション、質疑応答、レポート等を総合的に評価する。ゼミ行事の企画・運営への貢献も、評価の対象に含める。

【テキスト】 主教材：未定
副教材：中央経済社編『会計法規集（最新版）』中央経済社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71103	経営演習 I	営:選 国:不可	通年	4	3	飯田 穆	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 財務会計演習

【講義内容】 財務会計理論の研究

【評価方法】 ゼミでの報告を中心にする。

【テキスト】 ゼミで指示する

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71104	経営演習 I	営:選 国:不可	通年	4	3	村本 正生	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 マルチメディア社会と企業

【講義内容】 最近では、マルチメディア、インターネットの記事が新聞に出ていない日はないと言ってもよい。マルチメディアとかインターネットは一過性のものなのか、それとも定着した技術となるのであろうか。可能な限りこのような先端分野の真の姿を捕らえ、また、実際の利用を通して情報を収集し、これからの企業のあり方を探って行きたい。進歩の速い分野であり、何よりも、やる気と旺盛な好奇心が必要である。

【講義計画】 まずは最近の情報処理技術について概観し、基礎知識を学んだあと、できるだけ早い時期に研究するテーマを決定して、テーマについて学習したことを発表してもらい、講義を進めていく。授業時間以外にも計算機を利用して情報を収集解析することも必要になる。

【評価方法】 レポート、試験、発表、ゼミへの参加度など総合的に判断する。

【テキスト】 開講時に受講生の皆さんと相談の上決定したい。テキスト、新聞、雑誌を多数読むことになる。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71105	経営演習 I	営:選 国:不可	通年	4	3	斎藤 孝一	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 管理会計演習

【講義内容】 本演習は、キャッシュフロー会計を取り上げる。受講生は、質疑応答、レポート作成等を通して、管理会計に対する問題意識を高め、基本的技法を習得するよう期待する。
本演習は、以下に示すような内容からなっている。

【講義計画】 キャッシュフローと意思決定
キャッシュフロー概念の変化
キャッシュフローの予測

【評価方法】 期末試験を中心として、出席率、授業態度等も考慮して総合的に評価する。

【テキスト】 適宜指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71106	経営演習 I	営:選必 国:不可	通年	4	3	薫 祥 哲	
他の科目との関連	受講者はデータ解析と経営環境論を履修すること。					他学科履修	不可

【副題】 「環境便益評価論」

【講義内容】 環境問題に対する関心が高まる中で、これらの問題に対する解決策を見つけることは難しい。誰もが良い環境を求めるが、どの程度まで環境を良くするべきかを考える時、環境改善にかかるコストとその改善をもたらす便益を比較し、コストを上回る便益が消費者にもたらされるのかを調査する「費用便益分析」が欠かせない。最近では多くの政府機関でも「費用対効果分析」という名称で、こういった調査が行われている。しかし、水資源や大気質の改善、あるいは動植物の保護問題にも見られる様に、環境資源を直接売買する市場が存在しないので、消費者が環境に見出す価値を市場価格などから直接推測することが出来ない。したがって、さまざまな環境財からの便益は、「非市場評価法」と呼ばれる手法を用いて測定されている。その代表的な例としては、次の3手法が上げられる。

- 1) 旅行費用法 (Travel Cost Method)
- 2) ヘドニック価格評価法 (Hedonic Price Method)
- 3) 仮想評価法 (Contingent Valuation Method)

このゼミでは、これらの非市場評価法を紹介し、実際の評価事例を検討しながら環境便益評価をどのように考えるのかを学ぶ。また、不確実性を伴った環境リスクや環境資源に対する所有権など、「費用便益分析」のみでは解決されない問題も議論したい。環境便益の測定事例を議論する上で、初歩的な統計学と経済学原論の知識を持っている事が望ましい。以下に幾つかのテキストを挙げるが、授業において必要な文献のコピーを配布する。

【講義計画】 講義と、レポート報告の両方で進めていく。クラスでのディスカッションでは全員参加を前提とする。

【評価方法】 ゼミでの発表とレポート内容の評価。

【テキスト】 テキスト：

- 1) 嘉田良平監訳「環境評価の経済学」多賀出版、1994年
- 2) 栗山浩一「公共事業と環境の価値-CVMガイドブック」築地書館、1997年
- 3) 和田憲昌訳「新しい環境経済学-持続可能な発展の理論-」ダイヤモンド社、1994年

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71107	経営演習 I	営:選必 国:不可	通年	4	3	湯 本 祐 司	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 ブランド・マネジメント

【講義内容】 ブランドは企業にとってかけがいのない資産であり、いかにして強いブランドを構築・維持していくかは企業にとって非常に重要な課題である。下記のテキスト等を用いて、有効なブランド管理をするためにはどうしたらよいかを考えていく。また、各自業界あるいは企業をひとつ選択して調査してもらう。

【評価方法】 報告、レポート、ゼミへの貢献等から総合的に評価する。

【テキスト】 D.A. アーカー『ブランド・エクイティ戦略』ダイヤモンド社、1994年。
D.A. アーカー・E.ヨアヒムスターラー『ブランド・リーダーシップ』ダイヤモンド社、2000年。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
71108	経営演習Ⅰ	営:選 国:不可	通年	4	3	徳永 俊史	
他の科目との関連	経営財務論、投資論に関する科目					他学科履修	不可

【講義内容】 今日の日本において、投資信託への関心は非常に高まっている。この背景には、長引く超低金利、銀行の窓口販売解禁等がある。本講義では、投信が一般個人投資家の運用対象として定着しているアメリカにおいて最大級のファンドを提供しているバンガード・グループの創始者であるボーグル氏の著書を取り上げる。本著書はボーグル氏の卒業論文から始まる投資に対する深い洞察力の集大成である。
投信のパフォーマンスに対しては賛否両論であり、本講義ではその所在を探るとともに我が国での動向を調査することを目的とする。

【講義計画】 テキストに関しては、あらかじめ各テーマの担当者を決め、その調査結果を報告してもらう。そして、その内容について参加者全員で議論する。
さらに、日本の投資信託について調査し、1) 夏合宿の中間報告、2) 期末の最終報告を実施する。平行して、各人が財務全般から興味あるテーマを見つけ、それに関する副読本を読み、本テキスト終了後に各人の興味分野について報告してもらう。

【評価方法】 各自の報告内容により評価する。
なお、出席と積極的な参加態度は評価の大前提である。

【テキスト】 J.C.ボーグル著、井手正介監訳、みずほ年金研究所訳
『インデックス・ファンドの時代』東洋経済新報社、2000年

【その他】 夏休みにゼミ合宿（1泊）を予定しています。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
71109	経営演習Ⅰ	営:選 国:不可	通年	4	3	高橋 弘司	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副 題】 人的資源管理論(Human Resource Management: HRM)に基づく経営労務論

【講義内容】 働く人々を「資源」と促える人的資源管理論の視点から、経営労務・労務管理にアプローチする。その基礎的方法論である「組織行動論」(Organizational Behavior)や「産業・組織心理学」(Industrial/Organizational Psychology)についても理解を深める。

【講義計画】 ゼミ生の「テーマ」を可能な限り早期に発見してもらう内容にしていく予定。基礎的文献を輪読した後、自分なりのテーマを見出し、速やかに資料調査・読解など、卒業論文の作成準備に入る。また、必要に応じて報告・ディスカッションなど、進捗状況を明らかにしてもらう予定である。ゼミ生には「主体的学習態度」を強く期待する。自発的なサブゼミや勉強会の希望があれば検討の上実施したい。

【評価方法】 ゼミにおける議論への貢献度・報告の質（計50%）、レポート（50%）の点数を100点満点に換算し、60点以上取得した受講者に単位を与える。

【テキスト】 基礎的な内容のテキスト複数冊（書名未定）に加え、新聞・雑誌記事などを指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71401) 71406	基礎演習 (情報基礎)	選必	春学期	2	1	後藤 剛史 薫 祥哲 徳永 俊史 湯本 祐司 安藤 史江 高橋 弘司
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 経営学部での学習・研究にどのような情報が必要とされ、どう活用していくかを中心課題と考える。本講義では、情報処理機器の操作技能習得と問題発見・解決能力の習得を計り、かつまた高学年になったときコンピュータを道具として有効活用するスキルを身につける。併せて、広く情報化社会の恩恵と脆弱さを学び、情報化社会への洞察力を養う。したがって、初学年次生を対象にしたものである。扱う内容は、ワードプロセッサ、表計算、情報検索、インターネット、情報倫理などである。

【講義計画】 コンピュータ操作を中心に、基本的なネットワークシステムの概念と操作方法を学ぶ。

1. コンピュータの仕組み
2. オペレーティングシステムの役割
3. 文書処理 (ワードプロセッサ)
 - 日本語変換
 - 文書編集
 - 印刷
4. インターネット
 - Webの閲覧
 - 電子メール
5. 表計算
 - グラフ
 - データベース
6. プレゼンテーション
7. 情報セキュリティと情報倫理

【評価方法】 テーマごとに課題を出す。提出された結果と日頃の出席状況をもとに総合評価する。

【テキスト】

【その他】 授業では、基本的な手ほどきをするだけです。身につくかどうかは履修生のみなさんの熱意によります。情報機器を便利な道具として使いこなせるよう努力されることを切に期待します。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71411) 71416	基礎演習 (外書講読) A	選必	秋学期	2	1	後藤 剛史 薫 祥哲 高橋 弘一 飯田 穆 秦 勘 安藤 史江
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 経営学の諸分野で使われる英語文献の読解能力の基礎を養うことを目的として、アメリカにおける代表的な経営学の入門書である下記のテキストを講読する。授業は単なる英文和訳ではなく、英文の大意をバラグラフ毎に理解する速読方式で進められる。内容はビジネス及び経営の基礎的概念や制度の理解に重点を置き、経営理論についても言及する。同じテキストを継続して使う「基礎演習 (外書講読) B」を2年生の春学期に履修することにより、英語読解能力を伸ばしながら幅広く経営学の分野を学べる。

【講義計画】 具体的な講義計画については、各教員毎に授業の最初の時間に示されるが、概ね以下のようなPartを講

読する予定である。

- Part 1. Business Trends: Cultivating a Business in Diverse, Global Environments
- Part 2. Business Ownership: Starting a Small Business
- Part 3. Business Management: Empowering Employees to Satisfy Customers
- Part 4. Management of Human Resources: Motivating Employees to Produce Quality Goods and Services

【評価方法】 試験、レポート、授業参加度等の成績で評価するが、より具体的な評価方法については授業開始時に各教員が指示する。

【テキスト】 William G. Nickels et al., *Understanding Business*, 5th Edition, McGraw-Hill, 1999.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71419 71420 71421 71498	ビジネス英語 I A (オーラルコミュニケーション) 1～4	選必	春学期	1	1・2	CATTO Sarah W. LENIHAN John FENWICK Mark BINFORD Paul
他の科目との関連						履修対象学科 不可

【副題】 Business English I A (Oral Communication)

【講義内容】 Business English I A (Oral Communication) is the first in a series of four oral communication classes. Business English I A is followed by Business English II A, III A, and IV A. The goal of these classes is to improve students' speaking and listening skills and to increase their self-confidence in using English for communication. Activities may include pair and small group discussion, interviews, role plays, individual oral presentations, group presentations, and audiotape and video activities. Topics tend to be more general, from daily life and the current news, for example. Homework is required. We ask that students make their best effort to use as much English as possible in this class. Please come to class motivated and ready to use English.

This class will meet twice a week, on Tuesday and Friday.

For first-year students, the title of the class on Tuesday is Business English I A (Oral Communication). The title of the class on Friday is Oral Communication I.

For second-year students, the title of the class on Friday is Business English I A (Oral Communication). The title of the class on Tuesday is Oral Communication III.

【評価方法】 Each teacher will evaluate and grade students according to their own criteria. This could include:

- Attendance and participation in classroom exercises and activities
- Oral reports or examinations
- Written reports and examinations
- Group projects
- Homework
- Journals

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 The textbooks will be announced at a later date.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
71422 71423 71424 71499	ビジネス英語 I B (リーディング) 1～4	選必	春学期	1	1・2	MASON Paul BINFORD Paul YASUDA Karen FENWICK Mark
他の科目との関連						履修対象学科 不可

【副 題】 Business English I B (Reading)

【講義内容】 Business English I B is the first in a series of four reading and writing classes. Business English I B is followed by Business English II B, III B, and IV B. The purpose of this series of classes is to develop high-level skills in reading and writing for academic and business purposes. The reading component includes practice in reading for speed, accuracy, and understanding. The writing component includes practice in English sentence structure, and in paragraph, essay, and letter writing. Students will also learn “process writing”: how to evaluate, proof-read, edit, and rewrite their own compositions.

In Business English I B, students will learn how to write paragraphs in English. Paragraphs are the basic “building blocks” that longer essays are made of. It is therefore important that students have a strong foundation in this important skill. This course will include instruction and practice in writing topic sentences, supporting sentences, and summary sentences (conclusion). There will be practice in various types of paragraph organization: description, cause and effect, comparison and contrast, argumentation, and others. Students will also be introduced to word-processing and the use of computers for writing. By the end of the semester all essays must be typed. Lessons will also include practice in reading for speed, accuracy, and understanding.

This class will meet twice a week, on Monday and Thursday.

For first-year students, the title of the class on Monday is Reading I. The title of the class on Thursday is Business English I B (Reading).

For second-year students, the title of the class on Monday is Reading II. The title of the class Thursday is Business English I B (Reading).

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.

【評価方法】 The method of evaluation differs with each teacher. The possibilities are as follows:

- Compositions
- Attendance and participation
- Written examinations
- Oral reports or examinations

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of “S” (excessive absence).

【テキスト】 The textbooks will be announced at a later date.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
71425 71426 71427 71500	ビジネス英語 II A (オーラルコミュニケーション) 1～4	選必	秋学期	1	1・2	CATTO Sarah W. LENIHAN John FENWICK Mark BINFORD Paul
他の科目との関連						履修対象学科 不可

【副 題】 Business English II A (Oral Communication)

【講義内容】 Business English II A (Oral Communication) is the second in a series of four English conversation classes. (For a further explanation of this series, see the course description for Business English I A (Oral Communication).) This course will continue to build upon many of the skills discussed and practiced in

Business English I A (Oral Communication). Goals and activities for this course will be much the same as the goals and activities in Business English I A (Oral Communication).

This class will meet twice a week, on Tuesday and Friday.

For first-year students, the title of the class on Tuesday is Business English II A (Oral Communication). The title of the class on Friday is Oral Communication II.

For second-year students, the title of the class on Friday is Business English II A (Oral Communication). The title of the class on Tuesday is Oral Communication IV.

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.

【評価方法】 Each teacher will evaluate and grade students according to their own criteria. This could include:

- Attendance and participation in classroom activities and exercises
- Oral reports or examinations
- Written reports and examinations
- Group projects
- Homework
- Journals

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 The textbooks will be announced at a later date.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71428 71429 71430 71501	ビジネス英語ⅡB (ライティング) 1～4	選必	秋学期	1	1	MASON Paul BINFORD Paul YASUDA Karen FENWICK Mark
他の科目との関連						履修不可 対象学科

【副題】 Business English II B (Writing)

【講義内容】 Business English II B is the second in a series of four reading and writing classes. (For a further explanation of this series, see the course description for Business English I B (Reading).) Business English II B will review and build upon many of the skills discussed and practiced in Business English I B. Students will then be introduced to the composition of multi-paragraph essays. Topics will include: writing a thesis statement, introductory paragraph, supporting paragraphs, and concluding paragraph. Students may also have practice in writing formal letters in English. All written assignments for this class must be typed. Lessons will also include practice in reading for speed, accuracy, and understanding.

This class will meet twice a week, on Monday and Thursday.

For first-year students, the title of the class on Monday is Writing I. The title of the class on Thursday is Business English II B (Writing).

For second-year students, the title of the class on Monday is Writing II. The title of the class on Thursday is Business English II B (Writing).

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.

【評価方法】 The method of evaluation differs with each teacher. The possibilities are as follows:

- Compositions
- Attendance and participation
- Written examinations
- Oral reports or examinations

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 The textbooks will be announced at a later date.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71431 71433	商業簿記ⅠⅠ・ⅠⅡ	選必	春学期 秋学期	各2	1	亀井 孝文
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 簿記の初学者を対象に複式簿記の基礎概念および記帳原理を解説する。ここでは記帳技術を中心に学習するが、実は簿記はそれだけにとどまらない特有の理論をもっていることにも言及する。

【講義計画】 《商業簿記Ⅰ》
 (1) 簿記の意味と種類 (2) 勘定・勘定科目・勘定口座 (3) 資産・負債・資本・貸借対照表 (4) 取引とその種類 (5) 収益・費用・損益計算書 (6) 複式簿記の仕組み
 (7) 仕訳と元帳転記 (8) 仕訳伝票と総勘定元帳 (9) 試算表と精算表 (10) 問題演習
 (11) 決算の処理① (12) 問題演習 (13) 予備
 《商業簿記Ⅱ》
 (1) 現金・預金取引の処理 (2) 商品売買取引の処理① (3) 商品売買取引の処理②
 (4) 固定資産・有価証券取引の処理 (5) 決算整理① (6) 決算の処理② (7) 手形取引の処理
 (8) その他の債権・債務の処理 (9) 伝票式簿記における処理 (10) 決算整理②
 (11) 問題演習 (12) 問題演習 (13) 予備

【評価方法】 試験によって評価する。簿記は継続的な積み重ねの学習を必要とするため、授業を欠席しないことが肝要である。

【テキスト】 安平昭二著『入門 企業複式簿記』、東京経済情報出版 1999年

【その他】 11月または2月に日本商工会議所・簿記検定試験3級を受験するとよいであろう。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71432 71434	商業簿記ⅡⅠ・ⅡⅡ	選必	春学期 秋学期	各2	1	斎藤 孝一
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 会計は、企業の経営活動を複式簿記の原理に従って情報化し、財務諸表によって報告するシステムである。会計情報の理解なくしては、現代の企業活動を理解することはできないし、また、会計情報がどのように作成されるかを知らなければ、会計情報の正しい分析はできない。本講義では、複式簿記の基礎概念に焦点を合わせる。

【講義計画】 《商業簿記Ⅰ》
 (1) 複式簿記の特徴 (2) 簿記の基礎概念 (3) 簿記の基本構造
 (4) 仕訳・転記・仕訳帳・元帳 (5) 現金・預金勘定の取引処理
 (6) 商品売買取引の処理① (7) 商品売買取引の処理② (8) 債権・債務勘定の処理
 (9) 手形取引の処理 (10) 決算整理の意味と方法 (11) 決算の処理②

【評価方法】 出席率、授業態度を考慮して総合的に評価する。

【テキスト】 適宜指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71436 71437	情報処理A1・2	選必	秋学期	2	1	村本 正生	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 基本的なコンピュータの操作を学んだ学生を対象に開く科目である。実社会で最も利用されている表計算ソフトExcelのさまざまな関数の利用法を学習した上で、Excelのプログラムとは何か、どんなことができるのか、どのように操作を自動化するのか、Excel VBAの概略を解説する。併せてプログラム作成を行うVisual Basic Editorの基本操作を解説する。具体的には、メニュー操作の自動化、データ入力操作の簡素化、オリジナルの関数の作成と利用、他のアプリケーションとの連携処理などを扱う。

【講義計画】

1. Excelの関数
2. VBAとは
3. ワークシート操作
4. ブック操作
5. セル、セル範囲の操作
6. エラー処理
7. ファイル操作
8. グラフ
9. 印刷
10. コーディング
11. イベント

【評価方法】 テーマごとに課題を出す。提出された課題の出来具合と授業出席状況を考慮した上、総合評価する。

【テキスト】 資料を配布する。

【その他】 積み重ねの内容であるから、理解するためには毎回出席しなければならない。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71441 71446	経済原論I1・II1	選必	春学期 秋学期	各2	1	多和田 眞	
他の科目との関連	国際経済学・財政学・金融論等、経済学関係の科目を履修するための前提科目。					他学科履修	経営学部のみ可

【副題】 ミクロおよびマクロの基礎理論

【講義内容】 本講義は経済関係の専門科目や学ぶうえで必要となる経済学の基礎理論の習得を目的とするもので、前半は個々の経済主体の行動や市場のメカニズムに焦点をあてたミクロ経済論を扱い、後半は一国全体の経済のメカニズムと経済政策を内容とするマクロ経済理論をとりあげる。

【講義計画】 以下の順で講義を進める。

春学期

- (1) 消費者行動の理論
- (2) 企業行動の理論
- (3) 市場の均衡とその意味
- (4) 市場の失敗
- (5) 国際貿易の理論

秋学期

- (1) 国民所得の決定
- (2) 貨幣の需要と供給
- (3) 財政・金融政策
- (4) 失業とインフレーション
- (5) 国際マクロ経済理論

【評価方法】 期末テストの総合評価による。

【テキスト】 多和田・尾崎編著『経済学の基礎』（中央経済社）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71442 71447	経済原論Ⅰ 2・Ⅱ 2	選必	春学期 秋学期	各2	1	成生 達彦
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 ミクロおよびマクロの基礎理論

【講義内容】 本講義では、経営学を学ぶために必要な経済理論の修得を目的とする。そのため、講義内容はミクロ理論中心となっている。

【講義計画】

春学期	秋学期
経済学と経営学	ミクロ経済学の拡張
希少性原理と条件付き最大化	リスクの経済学
ミクロの基礎理論	情報の経済学
主体均衡	マクロ経済学
市場均衡	国民所得の決定
応用ミクロ：産業組織論	財政・金融政策
企業間のインタラクション	
価格差別と製品差別	

【評価方法】 筆記試験の成績

【テキスト】 丸山雅祥・成生達彦、現代のミクロ経済学、創文社、1997年。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71451 71453	数学Ⅰ 1～3	選必	春学期	2	1	春藤 修二
他の科目との関連						他学科履修不可

【副題】 線形代数入門

【講義内容】 多次元の量を扱うとき基本的な概念であるベクトル、およびそれに関連した行列、線形写像、行列式を学ぶ中で形式的な取扱いにも慣れることをめざす。

【講義計画】 ベクトルから始めて行列、線形写像、行列式概念を、連立1次方程式の解法をタテ糸にして扱ってゆく。各回なるべく読み切りの形で、問題練習もできるだけとり入れて進めるので出席に努めること。

【評価方法】 筆記試験の結果によるが、出席状況が評価に反映される様工夫したい。

【テキスト】 開講時に指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
71456 ） 71458	数学Ⅱ 1～3	選必	秋学期	2	1	春藤 修二
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 解析入門

【講義内容】 微分積分、主として1変数関数の微分法を講義する。初めからやっていくので初出の諸君も対応できるはずである。また高校数学で「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」を履修した諸君にはかなり重複した内容になるが、そうした諸君にも対応した内容を盛り込むつもりである。これまでの数学学習の経歴に関わらず出席することが望ましい。

【講義計画】 標準的な順序で、関数、極限、微係数、導関数と諸公式、平均値の定理、関数の増減、関数の近似、微分積分学の基本定理、2変数関数、偏微分、極値問題と進めてゆく。

【評価方法】 筆記試験の結果によるが、出席状況が評価に反映される様工夫したい。

【テキスト】 開講時に指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
71461 71466	経営学総論A 1・B 1	選必	春学期 秋学期	各2	1	藤井 達敬
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 経営学総論A1——近代企業と経営者論——
経営学総論B1——経営戦略と経営組織——

【講義内容】 現代社会において企業活動の重要性は増大している。一方で、企業活動の課題も看過できなくなってきた。そこでこの講義では、下記のテキストに従い、近代企業の成立過程と特質や近代企業における経営者の役割（春学期）と近代企業の経営戦略の特質や経営組織の形成と課題（秋学期）について講ずることとする。さらに、コーポレート・ガバナンス、経営システムとしての日本的経営、企業の社会的責任、企業と環境、企業倫理のテーマについても言及したい。

【講義計画】 経営学総論A1（春学期）では、「近代企業と経営者論」のテーマのもとに、近代企業の成立過程、企業形態の発展過程、企業目的の一元説と多元説、経営者支配の成立過程、専門経営者の出現過程やその職能について講ずる。さらに、コーポレート・ガバナンスについてもとりあげる。
経営学総論B1（秋学期）では「経営戦略と経営組織」のテーマのもとに、絶えず変化する企業環境に対応するために企業のとっている経営戦略の機能や概念について学習するとともに、協働システムとしての企業組織を構造的視点から学習し、権限やモラルの視点からも言及する。さらに経営システムとしての日本的経営の特質についてもとりあげ、近代企業の直面する課題として、社会的責任、環境、倫理に対する近代企業のとり組みについても言及したい。

【評価方法】 春学期・秋学期共に定期テストに中間テストと授業への参加度を加味して評価する。

【テキスト】 占部都美著・加護野忠男補訂『経営学入門』[改訂増補] 中央経済社、平成9年

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71462 71467	経営学総論A・B2	選必	春学期 秋学期	各2	2~4	小橋 勉	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 経営と環境適応

【講義内容】 経営とは変化する環境に対応していく企業行動である。そのような環境の中で企業が存続していくためには外部環境との適合性を保つだけでなく、内部の状況を統制していくことも重要である。即ち、外部環境に適合するような戦略を用い、それに合わせて組織をデザインし、他方で個々の従業員の動機づけを行う、などの必要がある。このように経営には様々な側面が存在するが、本講義では総論という立場からそれらを概観し、経営の全体像の習得を行うと同時に各論への橋渡しを行う。また、このことによって経営学説の概要を理解することにもつながる。

【講義計画】 経営学に関する様々な議論（モチベーション、リーダーシップ、組織開発、組織デザイン、戦略論、組織関係論など）を、個人・集団といったミクロレベルの議論から、組織さらには環境といったマクロレベルの議論へと順に検討していく。また、それに合わせて関連する他の議論、実際の現象などを適宜扱っていく。

【評価方法】 定期テストによる。

【テキスト】 岸田民樹『経営組織と環境適応』三嶺書房、1985。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71471 71472 71476 71477	会計原理Ⅰ1・2 会計原理Ⅱ1・2	選必	春学期 秋学期	各2	1	藤井 達敬 高橋 弘一	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 会計は、企業の経営活動を複式簿記の原理に従って情報化し、貸借対照表や損益計算書等の財務諸表によって報告するシステムである。会計情報の利用者には、経営者や管理者等の企業内部の利害関係者、債権者や投資家等の企業外部の利害関係者ばかりでなく、企画書を作成する社員や、顧客に自社製品の説明を行う営業マンも含まれる。会計情報の理解なくしては、現代の企業活動を理解することはできないし、また、会計情報がどのように作成されるかを知らなければ、会計情報の正しい分析はできない。本講義では、以下の観点から会計の原理について学習する。

【講義計画】

1. 会計制度と社会的意義
2. 複式簿記の原理
3. 企業活動と諸取引
4. 財務諸表の構造

また、会計原理の講義を補足するために、11月中旬に簿記検定3級程度のテストを行う。このテストの可否は、2年次以降の会計学の諸学科目を理解するためには、合格することが重要である。自習用テキストは適宜指示する。

【評価方法】 定期テスト、出席状況等を鑑み、総合的に評価する。同一年度に会計原理Ⅰ・Ⅱを履修する者は同一担当者のクラスを履修しなければならない。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
71481 { 71486	基礎演習（外書講読）B	選必	春学期	2	2	安藤 高飯 斎 秦 藤橋 田 藤 史剛 弘 孝 江史司 穆一 劫
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 「基礎演習（外書講読）A」と同じテキストを継続して使い、英語読解能力を伸ばしながら幅広く経営学の分野を学ぶ。

【講義計画】 具体的な講義計画については、各教員毎に授業の最初に時間に示されるが、概ね以下のPartを講読する予定である。
Part 5. Marketing: Developing and Implementing Customer-Oriented Marketing Plans
Part 6. Decision Making: Managing Information
Part 7. Managing Financial Resources

【評価方法】 試験、レポート、授業参加度等の成績で評価するが、より具体的な評価方法については授業開始時に各教員が指示する。

【テキスト】 William G. Nickels et al., *Understanding Business*, 5th Edition, McGraw Hill, 1999.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
71491 { 71497	基礎演習（プレゼミナール）	選必	秋学期	2	2	高橋 弘一 徳永 俊史 湯本 祐司 安藤 泰 史江 高橋 弘司 後藤 剛 史
他の科目との関連						履修対象学科 不可

【講義内容】 3・4年次で経営演習Ⅰ・経営演習Ⅱおよび卒業論文を履修し、各自の専門領域を確立するための準備として開設されている。経営学科の4コア制（組織・労務、財務、マーケティング、会計）の各コアから一人ないし二人の担当者が基礎演習を担当している。将来の専門領域についてのおよその体系、そして基本的知識の習得を目的としている。

【講義計画】 具体的な講義計画については、各教員毎に授業の最初の時間に示される。

【評価方法】 試験、レポート、授業参加度等の成績により評価される。

【テキスト】 適宜指示する。

【その他】 本年度、履修を希望する学生は、5月頃に実施する予備登録ガイダンスに必ず出席すること（詳細は後日掲示）。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71502 71503	ビジネス英語ⅢA（オーラルコミュニケーション）1・2	選必	春学期	1	2	MASON Paul CATTO Sarah W.
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副題】 Business English Ⅲ A(Oral Communication)

【講義内容】 Business English Ⅲ A(Oral Communication) is the third in a series of four oral communication classes. This class is designed to increase students' speaking and listening skills when dealing with more advanced topics in daily life, the news, and the business world. In addition to pair and group discussions, activities may include more formal work, such as speeches, presentations, debates, and note-taking of lectures. Audio tape and video activities may also be used.
Weekly homework may be included. All homework assignments must be completed. We ask that students make their best effort to use as much English as possible in this class. Please come to class motivated and ready to use English.

(This class will meet twice a week, on Tuesdays and Fridays. On Tuesdays, the title of the class is Oral Communication Ⅲ. On Fridays, the title of the class is Business English Ⅲ A(Oral Communication).)

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.

【評価方法】 Each teacher will evaluate and grade students according to their own criteria. This could include:

- Attendance and participation in classroom exercises and activities
- Oral reports or examinations
- Written reports and examinations
- Group projects
- Homework
- Journals
- Other methods of evaluation to be decided by each teacher.

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 The textbooks will be announced at a later date.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71504 71505	ビジネス英語ⅢB（リーディング）1・2	選必	春学期	1	2	BINFORD Paul MASON Paul
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副題】 Business English Ⅲ B(Reading)

【講義内容】 Business English Ⅲ B(Reading) is the third in a series of four reading and writing classes. The purpose of this series of classes is to develop high-level skills in reading and writing for academic and business purposes. The reading component includes practice in reading for speed, accuracy, and understanding. The writing component includes practice in English sentence structure, and in paragraph, essay, and letter writing. Students will also learn "process writing": how to evaluate, proof-read, edit, and rewrite their own compositions.

In Business English Ⅲ B(Reading), students will first review and practice the skills introduced in Business English I and II B. The class will then introduce new patterns of essay organization. Topics for compositions may be more complex and demanding than the topics in Business English I and II B. You may also be required to write longer compositions.

(This class will meet twice a week, on Mondays and Thursdays. On Mondays, the title of the class is Reading II. On Thursdays, the title of the class is Business English Ⅲ B(Reading).)

- 【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.
- 【評価方法】 The method of evaluation differs with each teacher. The possibilities are as follows:
 - Compositions
 - Attendance and participation
 - Written examinations
 - Oral reports or examinations
 If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).
- 【テキスト】 The textbooks will be announced at a later date.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71506 71507	ビジネス英語ⅣA (オーラルコミュニケーション) 1・2	選必	秋学期	1	2	MASON Paul CATTO Sarah W.
他の科目との関連						他学科履修不可

- 【副題】 Business English IV A(Oral Communication)
- 【講義内容】 Business English IV A (Oral Communications) is the last in a series of four English conversation classes. This course will continue to build upon many of the skills introduced and practiced in Business English III A(Oral Communication). Goals and activities for this course will be much the same as the goals and activities in Business English III A(Oral Communication).

 (This class will meet twice a week, on Tuesdays and Fridays. On Tuesdays, the title of the class is Oral Communication IV. On Fridays, the title of the class is Business English IV A (Oral Communication).)
- 【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.
- 【評価方法】 Each teacher will evaluate and grade students according to their own criteria. This could include:
 - Attendance and participation in classroom activities exercises
 - Oral reports or examinations
 - Written reports and examinations
 - Group projects
 - Homework
 - Journals
 - Other methods of evaluation to be decided by each teacher.
 If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).
- 【テキスト】 The textbooks will be announced at a later date.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71508 71509	ビジネス英語ⅣB (ライティング) 1・2	選必	秋学期	1	2	BINFORD Paul MASON Paul
他の科目との関連						他学科履修不可

- 【副題】 Business English IV B(Writing)
- 【講義内容】 Business English IV B(Writing)is the last in a series of four reading and writing classes. Business English IV B(Writing)will continue to build upon the skills discussed and practiced in Business English III B(Reading). (See course description for Business English III B(Reading).)

 (This class will meet twice a week, on Mondays and Thursdays. On Mondays, the title of the class is Writing II. On Thursdays, the title of the class is Business English IV B(Writing).)

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.

【評価方法】 The method of evaluation differs with each teacher. The possibilities are as follows:

- Compositions
- Attendance and participation
- Written examinations
- Oral reports or examinations

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 The textbooks will be announced at a later date.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71511 71513	工業簿記Ⅰ・Ⅱ	選必	春学期 秋学期	各2	2	亀井 孝文	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 商業簿記が外部経済主体との取引を対象とするのに対し、工業簿記は製造業における内部取引の記録・計算を対象とする。それらの内部取引データは製品原価の算定のための基礎を提供し、原価算定の結果もまた同様に内部取引として記録・計算される。このような相互関係をもつプロセスを体系的に複式簿記の枠組みのなかで取り扱うのが工業簿記である。本講義では、工業簿記の基礎から原価計算の入門に至るまでを視野に入れて学習する。

【講義計画】

- 《工業簿記Ⅰ》
- (1) 工業簿記の本質 (2) 原価概念 (3) 原価計算の基本的意味 (4) 工業簿記の構造
 (5) 材料費の計算 (6) 労務費の計算 (7) 経費の計算 (8) 製造間接費の計算
 (9) 部門費の計算 (10) 個別原価計算 (11) 総合原価計算(1) (12) 総合原価計算②
 (13) 総合原価計算③ (14) 予備
- 《工業簿記Ⅱ》
- (1) 標準原価計算① (2) 標準原価計算② (3) 標準原価計算③ (4) 原価・営業量・利益の分析
 (5) 原価予測の方法 (6) 直接原価計算① (7) 直接原価計算② (8) 製品の受払い
 (9) 営業費の計算 (10) 工場会計の独立 (11) 問題演習① (12) 問題演習②
 (13) 問題演習③ (14) 予備

【評価方法】 学期末の試験による。また、授業時に随時小テストを実施し、その成績も最終的な総合評価に利用する。

【テキスト】 染谷恭次郎・新井清光・岡本 清監修／岡本 清・廣本敏郎編著 『新検定 簿記講義(2級 工業簿記)』、中央経済社 最新版

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71516 71517	情報処理B1・2	選必	春学期	2	2	村本 正生	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 基本的なコンピュータの操作を学んだ学生を対象に、データベースの基礎を学習する科目である。データベースシステムは、データを整理して表示する場合に使用するテーブル、フォーム、データアクセスページ、クエリ、レポートといったデータベースオブジェクトで構成されている。この講義では、Accessを利用しながら、理論と実践を学ぶ。

さらに、SQLとDBMSの基本的な概念や原理を説明するとともに、Accessでの具体的なSQLの実装との関連でSQL言語について説明する。

【講義計画】

1. データベースの概念
2. データモデルの概念
3. 関係データモデル

4. データベースの設計
5. 正規化
6. Accessの機能
7. データベースの作成
8. データベースへの問合せ処理、更新処理
9. SQLでの問合せとAccessのクエリ
10. Accessの活用
11. Access VBA

【評価方法】 テーマごとに課題をだす。提出された課題の出来具合と授業出席状況を考慮した上、総合評価する。

【テキスト】 資料を配布する。

【その他】 積み重ねの内容であるから、理解するためには毎回出席しなければならない。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71521	経営数学	選必	春学期	2	2	秦	劫
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 経営学の勉強に必要な数学を学習する。

- 【講義計画】
- (1) 集合と論理
 - (2) 写像と関数
 - (3) ベクトル
 - (4) 行列
 - (5) 逆行列と行列式
 - (6) 固有値と固有ベクトル
 - (7) 数列と級数
 - (8) 関数と極限
 - (9) 微分法
 - (10) 偏微分と全微分
 - (11) 確率

【評価方法】 定期試験によって評価する

【テキスト】 参考書：木島正明・岩城秀樹著 「経済と金融工学の基礎数学」(朝倉書店。1999年)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71531 71532	統計学 I 1・2	選必	春学期	2	2	木村 美善 松田 眞一	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 統計的方法はコンピュータの発達にともない、様々な分野で活発に用いられるようになってきている。この講義では統計学の基礎的概念と手法について解説し、それらがどのように応用されるかを考察する。論理的厳密性よりも直観的理解に重点をおき、統計的なもの見方・考え方を身近な例を用いてわかりやすく説明する。

- 【講義計画】
1. 統計と社会
 2. 平均値と分散
 3. 度数分布
 4. 回帰と相関の分析
 5. 確率
 6. 確率変数と確率分布

【評価方法】 リポート20%、試験80%の割合で評価する。

【テキスト】 宮川公男著『基本統計学』（有斐閣）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71536 71537	統計学Ⅱ 1・2	選必	秋学期	2	2	木村 美善 松田 眞一
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 「統計学Ⅰ」の学習を前提とし、標本に基づく推測統計学についてわかりやすく解説する。推測統計学の基礎理論と手法およびその応用について理解することが目的である。

【講義計画】

1. 主な確率分布
2. 標本分布
3. 推定
4. 検定
5. 回帰の推測統計理論

【評価方法】 リポート20%、試験80%の割合で評価する。

【テキスト】 宮川公男著『基本統計学』（有斐閣）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71541 71543	経営労務論A・B	選必	春学期 秋学期	各2	2	高橋 弘司
他の科目との関連	経営組織論、組織心理学					他学科履修可

【副題】 経営組織における人的資源管理

【講義内容】 「人的資源管理論(Human Resource Management: HRM)」の立場から、経営組織(企業)における人事労務管理の基本的な考え方・施策・問題点について学ぶ。授業では、従来からの伝統的な人事労務管理論的視点よりも、主に米国において発展してきたHRMの視点が強調される。また、HRMの方法論的基礎としての「組織行動論(Organizational Behavior: OB)」、働く個人を長期的・時系列的に捉える「キャリア発達論(Career Development Theory: CDT)」についても理解を深める。

【講義計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 人的資源管理の機能と組織行動論
- 第3回 人的資源管理における人間観
- 第4回 働く個人のキャリア発達
- 第5回 組織における個人の行動の基礎
- 第6回 人員計画・採用・選抜
- 第7回 組織への参入
- 第8回 組織社会化と初期キャリア発達
- 第9回 訓練・キャリア開発プログラム
- 第10回 動機づけ理論の基礎と応用施策
- 第11回 職務態度
- 第12回 生産性とTQM
- 第13回 業績評価と報酬
- 第14回 懲罰と公平性
- 第15回 従業員の精神的健康とストレス
- 第16回 変容する日本企業の人的資源管理

【評価方法】 登録者数が多くなると予想されるので、各学期末試験によって評価を行う。また、クイズ(小テスト)、ミニレポートを適宜行い、評価に反映させる。

【テキスト】 ステファン・P・ロビンス（著） 高木晴夫（監訳） 『組織行動のマネジメント——入門から実践へ——』（ダイヤモンド社）を使用する予定。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
71546 71548	経営財務論A・B [経営コース]	選必	春学期 秋学期	各2	2	徳永 俊史	
他の科目 との関連						他学科 履 修	可

【講義内容】 企業は物を生産したり、サービスを販売することによって利益を得るために活動している。そして、経営者はたえずいかに合理的な意思決定を行うのか考えなければならない。経営財務論ではそうした意思決定を資金循環の側面からとらえていく。具体的には、1) 企業の実物投資、2) 企業の資金調達、3) 企業の資金運用について理解することを目標とする。

【講義計画】 経営財務論は大きく分けると、1) 企業財務論、2) 投資論から構成される。企業財務論での主要テーマは、1) 財務諸表から企業活動をどうとらえるのか、2) 設備投資におけるキャッシュフローをどのように評価するのか、3) 資本の選択をどのように行うか、である。一方、投資論での主要テーマは、1) 金融・資本市場とは何か、2) その市場内でどのような投資あるいは貯蓄を行うのか、3) 取引されている金融資産の価格がどのように形成されるか、である。授業計画は、企業財務論を前半、投資論を後半に行う予定である。

なお、授業では、1) 最近我々の身近なところで起きている企業経営に関する問題、2) 実際のデータを使った計算、等を取り上げながら進めていく方針である。

【評価方法】 授業中出される課題に対するレポートと最終試験により評価する。

【テキスト】 特にテキストは使用しなが、参考書として
井手正介・高橋正文『企業財務入門』 日本経済新聞社、1992年。
その他、必要に応じて授業中に提示・配布します。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
71551 71553	マーケティング論A・B	選必	春学期 秋学期	各2	2	中田 善啓	
他の科目 との関連	流通論及び企業戦略に関する科目。					他学科 履 修	可

【副 題】 マーケティングの進化

【講義内容】 企業が行っているマーケティング戦略を体系的に説明するが、特にその進化のメカニズムを明らかにし、ダイナミズムに力点をおきたい。マーケティングは市場を形成することによって、企業内、企業間、消費者間の取引の開始から終結までの活動をコントロールして、需要と供給のマッチングを達成することである。具体的にはチャネル、製品、価格、販売促進を中心に企業戦略と関連させて説明する。同時に、マーケティングはダイナミックに変化していくので、その進化のプロセスを明らかにしたい。

【講義計画】

1. マーケティングとは何か
2. 大量生産・大量販売システムのマーケティング
3. ネットワーク商品のマーケティング
4. 進化ゲームとマーケティング
5. マーケティング・チャネルと進化
6. 技術選択と新製品開発戦略
7. 技術の進化と進化
8. 流行のメカニズム
9. 取引慣行の進化とグローバル化

このような授業を通じて何よりもまず積極的に企業活動、経営問題、企業と社会・環境問題に関心をもち、同時に、明確な問題意識をもち、それを解明する分析能力を身につける手がかりにして欲しい。

【評価方法】 筆記試験、出席することが単位修得の必要条件である。

【テキスト】 中田善啓著『マーケティングの進化』(同文館)

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
71561	経営統計学	選必	秋学期	2	2	安藤 雅和
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 統計学の主な目的は、日常生活や社会で起こる様々な現象を観察(調査)し、それによって得られる数値的データを分析して、その現象の法則性を探っていくことである。本講義では、データを統計的に分析するにあたって必要な知識を身につけるとともに、学内のコンピュータ(OS:Windows98)で使用可能な統計ソフトを用いて、実際のデータの分析を行う。

【講義計画】

1. 経営統計学とは
2. データの整理と簡約化
3. 確率変数と確率分布
4. 推定
5. 仮説検定
6. 回帰分析

【評価方法】 レポートと期末試験により評価する。

【テキスト】 適宜指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
71571	データ解析(組織・労務)	営:選・B 国:選	秋学期	2	3・4	高橋 弘司
他の科目との関連	経営労務論A1・B、経営組織論、組織心理学					他学科履修 不可

【副 題】 経営組織(企業)に働く従業員の行動・心理をデータによって探索・検証する

【講義内容】 実際に企業で働く人々から得られたデータをもとに、従業員の行動・心理について実証的に検討を行うための方法論・分析・結果解釈の基礎を身につける。また、ベースとなる心理測定法・社会調査法などについても理解を深め、機会があれば受講者がかんたんな質問紙調査を実施することが可能となる技能・知識を習得させていく。統計解析用ソフトウェアには、SPSS10.0Jを用いる予定である。

【講義計画】 本科日は、以下のモジュールに分かれている。

- モジュール1: データ解析・実証研究の必要性の理解
- モジュール2: 解析Ⅰ——記述統計による分析
- モジュール3: 解析Ⅱ——推測統計・多変量解析による分析
- モジュール4: 結果解釈と議論の方法
- モジュール5: 質問紙調査法の初歩

【評価方法】 期末レポート(50%)、ホームワーク(20%)、出席点(講義中の質疑応答を含む)(30%)の配点を100点満点に換算し、60点以上取得した受講者に単位を与える。

【テキスト】 SPSSについてのごく初歩的なテキストを採用する予定。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
71572	データ解析 (財務) 1	営:選・B 国:選	秋学期	2	3・4	徳永 俊史	
他の科目との関連	経営財務論もしくは投資論を履習していることが望ましい。					他学科履修	不可

【講義内容】 世の中には様々な金融商品が存在し、金融機関は各商品の販売促進のため顧客向け資料を充実させている。特に、インターネットの普及に伴い、顧客はそれら資料を簡単に手に入れられる。逆に言うと、顧客はそれら情報を的確に評価することを求められている。
本講義では、様々な金融商品のパフォーマンスをどのように測定・評価するのか実際のデータを使って分析する。

【講義計画】 前半では、金融商品がもたらす利益をどのように計測するのか考える。具体的には、収益率の計算を行う。その中で、単利・複利の違いや年率換算の方法等について考える。
後半では、獲得された利益が何によってもたらされるのか考察する。ここでは、経営財務論や投資論で学んだ考え方を実践する。
以上すべての内容は、Excelを使って分析する。

【評価方法】 出席・期末レポート

【テキスト】 砺波元著『資産運用のパフォーマンス測定』きんざい、2000年。

【その他】 宿題や利用データの配布は、E-mail経由で行います。アカウント未取得者は講義前に取得しておくこと。また、Excel未経験者は事前に『J棟手引き』のExcelに関する説明部分を予習しておくこと。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
71573	データ解析 (財務) 2 [国際コース]	営:選・B 国:選	春学期	2	3・4	BREMER Marc	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副 題】 Data Analysis

【講義内容】 The objective of this course is to prepare students to conduct basic research in business and finance. Students will use computers and statistical software. Regular attendance is necessary. Students will take one exam and complete two data analysis projects. Lectures will be in English. Assignments and exam answers should be written in English, however Japanese is acceptable.

【講義計画】

- 1 Introduction-What is statistics?
What is TSP?
What is a spreadsheet?
Setting up an email/computer account
- 2 Summarizing Numeric Information
Introduction to Financial Data
- 3 Probability
- 4 Random Variables
- 5 Sampling and Survey Methods
- 6 Estimation (Point and Interval)
- 7 Hypothesis Testing
- 8 Regression and Correlation
- 9 Analysis of Variance
- 10 Final Exam

【評価方法】 Evaluation will be based on successful completion of assigned homework, two research projects, examination scores and attendance.

【テキスト】 Paul Newbold, *Statistics for Business and Economics*, 4 th edition, Prentice Hall, 1995.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71575	データ解析 (マーケティング)	営:選・B 国:選	秋学期	2	3・4	湯本 祐司
他の科目との関連						他学科履修: 不可

【講義内容】 マーケティング・リサーチ等で用いられる多変量解析について講義を行い、統計パッケージを用いた実習をおこなう。統計パッケージはSPSS (Windows版) を用いる予定である。統計パッケージの使い方については講義の中で解説する。

【講義計画】

1. マーケティングと多変量解析
2. 相関分析
3. (重) 回帰分析
4. 因子分析
5. 判別分析
6. クラスタ分析

【評価方法】 宿題70%、期末レポート30%。

【テキスト】 大村平著『多変量解析のはなし』日科技連。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71577	データ解析 (会計)	営:選・B 国:選	秋学期	2	3・4	斎藤 孝一
他の科目との関連						他学科履修: 不可

【講義内容】 本講義は、わが国の有価証券報告書に掲載されているデータを使用して、キャッシュフローの分析を行う。標本として使用する企業は、適宜選択する。
本講義は、以下に示す計画に従って講義を進める予定である。

【講義計画】 講義は、次のような内容を取り上げる予定である。分析測定値は、各種利益、運転資本、日経キャッシュフロー、営業活動、投資活動、財務活動からのキャッシュフローとする。データの解析は、次の2点について行う。(1) キャッシュフローの伝統的尺度と新しい尺度の間に相関があるかどうか。(2) 発生基準による利益は、将来キャッシュフローの予測尺度としてすぐれているかどうか。

【評価方法】 出席率、授業態度を考慮して総合的に評価する。

【テキスト】 資料の収集、分析方法については、講義時に指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71579	データ解析 (企業)	営:選・B 国:選	春学期	2	3・4	薫 祥哲
他の科目との関連						他学科履修: 不可

【講義内容】 経営業務のさまざまな意志決定を行う上で、数量的データの分析は不可欠である。単なる「平均値」や「分散」といった様な記述統計の概念以外に、統計的な「仮説検定」や「回帰分析」等の手法を理解することはデータの有効利用に多いに役立つ。講義では、一般的な統計学の概念と変数相互間の関係から始め、仮説の立て方とその仮説の統計的検定に進む。さらに、変数相互間の関係を表わすモデルを考え、最も広く使われている「最小二乗法」による回帰分析を学ぶ。時間があれば、ロジット・モデル等の「最尤法」に基づく回帰分析も取り扱う。主としては同時点内の横断面データの分析中心に講義を行い、時系列のデータは扱わない。個々の学生が実際にデータを分析できるように、PCの操作も説明する。統計パッケージ

としては、PCをベースとしたTSP (Time Series Processor) と呼ばれる計量経済学用のプログラムを使用する。

- 【講義計画】 講義とPCを使った演習を平行して進める。教科書以外に必要な参考文献は、講義の時に配布する。
- 【評価方法】 レポートと練習問題の提出で評価
- 【テキスト】 和合肇・伴金美著『TSPによる経済データの分析』(東京大学出版会、1995)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71601 71603	経営組織論A・B	選	春学期 秋学期	各2	2~4	安藤 史江	
他の科目との関連						他学科履修	可

- 【講義内容】 本講義では、春学期に経営組織論の基礎を広範に学習し、秋学期には経営組織論の主要テーマである組織学習論を中心に知識の修得をめざす。
- 【講義計画】 テキストに沿って、経営組織論の重要なトピックを一つ一つ押さえていく。必要に応じて、積極的に具体例の紹介を行う。
- 【評価方法】 出席点・期末試験など、総合的に評価を行う。
- 【テキスト】 経営組織論A：経営学入門シリーズ『経営組織』 金井壽宏著 日本経済新聞社、1999。
経営組織論B：Aのテキストに加え、拙著『組織学習と組織内地図』白桃書房、2000 (予定)。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71609 71611	流通論A・B	選	春学期 秋学期	各2	2~4	成生 達彦	
他の科目との関連	数学・経済原論を履修していることが望ましい。またマーケティング論、マーケティング・マネジメント及び企業論の履修を推薦する。					他学科履修	可

- 【副題】 流通の経済分析
- 【講義内容】 流通現象をミクロ経済理論のフレームワークを用いて検討する。春学期には、流通の役割を情報(伝達)機能を中心に説明するとともに、専売店制、再販制、テリトリー制さらには返品制等の流通系列化について検討する。秋学期は、企業間の競争関係を踏まえつつ戦略的行動を論じるとともに、日本の流通システムを経済的合理性の観点から評価する。
- 【講義計画】 テキストは14章あり、1回の講義で1章進む予定。内容はやや難しいが、分かりやすく説明するつもりである。
- | | |
|---|--|
| <p>流通論A</p> <p>0 マーケティング・流通の経済理論</p> <p>1 商人と市場</p> <p>2 商品分類と流通経路</p> <p>3 小売りの輪</p> <p>4 専売店制</p> <p>5 再販制</p> <p>6 返品制</p> | <p>流通論B</p> <p>1 長期マーケティング戦略</p> <p>2 垂直的分離と取引制限</p> <p>3 日本の小売り構造</p> <p>4 日本の卸売り構造</p> <p>5 書籍の流通</p> <p>6 自動車の流通</p> <p>7 日本の流通システム</p> |
|---|--|
- 【評価方法】 定期試験
- 【テキスト】 テキスト：成生達彦『流通の経済理論』(名古屋大学出版会)
参考書：丸山雅祥『日本市場の競争分析』(創文社)
有賀 健『日本的流通の経済学』(日本経済新聞社)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71613 71615	財務会計論A・B	選	春学期 秋学期	各2	2～4	藤井 達敬	
他の科目との関連	会計原理が履修済であることが望ましい。					他学科履修	可

【講義内容】 財務諸表（Financial Statements）は企業の利害関係者に企業の実態についての情報を提供している。企業は財務諸表を定期的に公表することによって社会的責任の一端を果たしている。財務諸表による財務公開制度は商法、証券取引法によっても企業に義務づけられている。このように財務諸表の社会的意義は高いが、財務諸表を作成するには多くの会計的判断を伴う。即ち、会計的事実（経営活動もしくは企業活動）を数値化する過程で多くの会計的判断が必要とされる。会計的判断をするにあたってはその判断の拠り所即ち判断基礎を必要とする。この講義では会計的判断の基礎ともいべき近代会計理論について講ずるとともに企業会計原則、財務諸表規則、計算書類規則についても言及する。

【講義計画】

I. 近代産業社会と企業会計 (1)近代産業社会における企業 (2)利害関係者、社会的責任と企業会計	} 春学期
II. 近代会計理論の特質 (1)近代会計理論における利益測定構造 (2)利益測定構造を支える諸原則	
III. 資産会計	} 秋学期
IV. 負債会計	
V. 資本金会計	
VI. 損益計算書会計 (1)収益の計上原則 (2)費用の計上原則	
VII. 連結会計論	

【評価方法】 春学期・秋学期の定期試験と年数回のレポートにより評価する。

【テキスト】 新井清光著『新版 財務会計論』（中央経済社刊）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71617 71619	株式会社社会論A・B	選	春学期 秋学期	各2	2～4	高橋 弘一	
他の科目との関連	会計原理および財務会計論（同時履修可）を履修していることが望ましい。					他学科履修	可

【講義内容】 複式簿記をはじめ、企業会計の基礎知識を既に修得していることを前提に、大規模株式会社特有の会計問題、ならびにそれらの財務報告制度について講義する。

【講義計画】

株式会社社会論A	株式会社社会論B
1. 株式会社制度 (1)	1. 連結財務諸表制度
2. " (2)	2. 連結会計の基礎的前提
3. 株式会社の資本の構成	3. 連結会計の一般原則・一般基準
4. 資本準備金	4. 連結の範囲
5. その他の資本剰余金	5. 連結貸借対照表・連結損益計算書
6. 株式会社増資 (1)	6. 連結精算表
7. " (2)	7. 親会社の子会社株式勘定と子会社の資本勘定の相殺消去
8. 利益準備金	8. 連結調整勘定
9. 株式会社利益処分 (1)	9. 少数株主持分
10. " (2)	10. 未達事項・連結会社間取引の整理
11. 商法の配当制限とその計算 (1)	11. 未実現損益の消去 (1)
12. " (2)	12. " (2)

【評価方法】 定期試験の成績に基づく絶対評価法に、相対評価法を加味して行う。毎回、出欠をとる予定。欠席時数

が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えると、履修成績評価は「欠席過多 (S)」による不合格とする。

【テキスト】 主教材：未定
副教材：中央経済社編『会計法規集（最新版）』中央経済社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71635 71637	企業論A・B	選	春学期 秋学期	各2	2~4	後藤 剛史	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 市場と企業、および企業の内部組織

【講義内容】 企業論Aでは、企業を生産関数としてとらえ、企業の市場における行動を分析する。企業論Bでは、企業の内部組織を契約理論などを用いて分析する。履修に際しては、微積分・確率論の初等知識を有していることが望ましい。

【講義計画】 春学期 市場と企業
1) 生産関数としての企業
2) 完全競争市場における企業
3) 不完全競争市場における企業—独占、複占などの分析—
4) 複数企業のカルテル形成と独占禁止法
秋学期 企業の内部組織
1) 労働者の新規採用と学歴シグナリング論
2) モラルハザードと雇用契約
3) インセンティブの創出—トーナメント競争など
4) 所有権の配分と企業の境界
5) 企業内での権限の配分

【評価方法】 数回の宿題および春・秋学期の試験により評価する。

【テキスト】 テキストは用いないが、以下の図書を参考図書とする。講義は配布プリントによって進める。
参考図書：
奥野正寛『ミクロ経済学入門』（日経文庫）
丸山雅祥・成生達彦『現代のミクロ経済学：情報とゲームの応用ミクロ』（創文社）
柳川範之『契約と組織の経済学』（東洋経済新報社）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71639 71641	経営管理論A・B	選	春学期 秋学期	各2	2~4	小橋 勉	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 現代企業とその管理

【講義内容】 経営管理とは、経営上の様々な問題を解決し、パフォーマンスの向上を図ることとして捉えることができる。本講義では経営管理に関する議論を学習し、また現代企業が直面する諸問題にも触れ、現代企業の経営管理についても考察する。

【講義計画】 上記の内容を理解するために、第1に経営管理に関する議論を検討する。具体的には、科学的管理法、管理過程論に始まる古典的管理論から、組織構造、組織変化に関する議論、そして戦略論等に言及する。
第2に、多様性、スピード、情報化、国際化、そしてイノベーションといった近年の社会的特徴が組織に対してどのような影響を及ぼすのか、また、組織がどのようにそれらの問題に対処しているのか、といった点を指摘する。

【評価方法】 定期試験による。

【テキスト】 特にテキストは指定しないが、講義中に参考書を適宜提示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71643 71645	経営環境論A・B	選	春学期 秋学期	各2	2~4	薫 祥 哲	
他の科目との関連	経済原論を履修していることが望ましい。					他学科履修	可

【講義内容】 ミクロ経済理論に基づいて、環境資源の効率的な利用を考える。また、環境資源管理に関する政策手段とその効率性、そして環境改善がもたらす経済的便益を検討する。環境資源管理と政策の必要性は、多くの場合、その資源の所有権の不明確さと生産活動がもたらす外部不経済効果から生じている。実際の環境資源管理を決めていく上で、経済理論及び費用便益分析がなしうる役割とその限界を検討する。
経営環境論Aでは理論的な概念を中心に講義するが、経営環境論Bでは米国の環境規制の事例、特に「大気浄化法」と「水浄化法」における理論と行政政策のギャップなども議論する。

【講義計画】 講義では以下のトピックスを扱う。

- 1) 汚染物による外部不経済効果
- 2) 再生可能資源と枯渇性資源の最適利用
- 3) 異世代間における資源配分ルールと割引率
- 4) 資源配分上のパレート最適条件
- 5) 公共財としての環境資源管理
- 6) 汚染物排出規制：排出課税とスタンダード設定
- 7) 売買可能な汚染物排出権 (Marketable Permits)
- 8) 漁業資源の利用について
- 9) リサイクル可能資源
- 10) 米国における大気浄化法 (Clean Air Act)
- 11) 米国における水浄化法 (Clean Water Act)
- 12) 環境便益の非市場評価法
- 13) 環境財の使用価値、存在価値、オプション価値
- 14) 環境リスク管理

【評価方法】 定期試験

【テキスト】 T. H. Tietenberg, 1999, *Environmental and Natural Resource Economics*, Fifth Edition, Addison Wesley Longman, Inc., New York.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71671 71673	労使関係論A・B	営:選・B 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	藤原 道夫	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 労使関係論Aでは、(1) 労働組合の定義、(2) 日本の企業別組合の特徴、(3) USA、英国、ドイツと日本との比較、(4) 団体交渉・苦情処理・労使協議の定義を学ぶ。
労使関係論Bでは、(1) 労働組合の効果、(2) 社会・政治システムのアクターとしての労働組合、(3) 争議行為の経済学的意味、(4) 行動科学と交渉理論、(5) 日本の企業別組合の歴史を学ぶ。

【講義計画】 労使関係論A

- 1 労働組合と3者間関係の労使関係
- 2 労働組合の定義～労働組合法を参照して～
- 3 労働組合の諸類型
- 4 企業別(内)組合とは
- 5 USA、英国、ドイツの労働組合
- 6 労働組合の職場組織
- 7 組合官僚制と労働組合

- 8 社会的（企業外）組織としての労働組合
 - 9 団体交渉事項
 - 10 苦情処理
 - 11 労使協議
 - 12 まとめ
- 定期試験100%。

労使関係論B

- 1 社会・政治システムと労働組合
 - 2 産業民主主義
 - 3 ストライキの諸側面
 - 4 『労働組合の二つの顔』
 - 5 労働組合効果
 - 6 日本の賃金決定メカニズム
 - 7 行動科学の交渉理論
 - 8 斡旋・調停・仲裁
 - 9 企業別組合の変遷
 - 10 現代の日本における企業別組合の課題
 - 11 まとめ
 - 12 予備
- 定期試験

【評価方法】 定期試験100%。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71675 71677	組織心理学A・B	営:選・B 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	高橋 潔
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 このクラスでは、心理学における研究法・測定法に基づいて、経営組織における人間行動や職務と組織が及ぼす影響を研究してきた様々な応用心理学研究と、その背景にある基礎心理学理論を展望する。その際、①組織で働く従業員の個人行動や個人差、②上司・同僚・部下との間の対人関係や職場での集団過程、ならびに③職務構造・組織構造・組織開発を含めた組織過程に焦点をあてる。とくに、能力・性格・モチベーション・欲求・職務満足・職務設計・ストレス・集団葛藤・意思決定・リーダーシップ・組織構造・組織文化・組織開発などに関連する諸研究を展望する。

- 【講義計画】
- 1. 経営管理と組織行動
 - 2. 能力的個人差
 - 3. 性格的個人差
 - 4. モチベーション（1）
 - 5. モチベーション（2）
 - 6. 職務満足・態度
 - 7. 職務設計
 - 8. ストレス管理
 - 9. 集団葛藤
 - 10. 意思決定
 - 11. リーダーシップ
 - 12. 組織開発

【評価方法】 定期試験による

【テキスト】 上田泰（1995）組織の人間行動 中央経済社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71683 71685	投資論A・B	営:選・B 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	秦 劫
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 日本証券アナリスト協会検定試験科目、証券分析の1次試験レベル相当の証券投資のための基本的分析手法のいくつかについて講義する。

【講義計画】 投資論A

1. 確実性下での投資理論
現在価値・内部収益率
株式の配当割引モデル
2. 確率の復習
確率変数
平均・分散・共分散
3. 株式投資
収益率の平均と分散
効用関数
最適ポートフォリオ選択理論 (Optimal portfolio selection)
CAPM (Capital Asset Pricing Model)
インデックス・モデル
APT (Arbitrage Pricing Model)

投資論B

1. 債券投資
利回りの計算
金利の期間構造
債券のリスクと投資戦略 (Duration and immunization)
2. 派生証券理論
裁定取引
先渡しと先物
オプション
ワラントと転換社債
スワップ
ポートフォリオ・インシュアランス (Portfolio insurance)
3. 日本の証券市場

【評価方法】 定期テストによって評価する

【テキスト】 特にテキストを用いないが、参考書として以下を挙げておく。

1. 大村敬一『現代ファイナンス』有斐閣ブックス
2. 岩城秀樹『デリバティブ理論と応用』朝倉書店
3. 仁科一彦『現代ファイナンス理論入門』中央経済社
4. 日本証券アナリスト協会『証券投資論』日本経済新聞社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71693 71695	マーケティング・マネジメントA・B	営:選・B 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	湯本 祐司
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 マーケティング・マネジメントとはターゲットの顧客を満足させるような取引の実現を通じて企業の目的を達成するように企業が努力するプロセスであり、それは市場機会の分析・マーケティング戦略の開発・マーケティングプログラムの計画・マーケティングエフォートの管理の4つのステップよりなる。授業ではこのステップ順に体系的にマーケティング・マネジメントを解説する。

【講義計画】 マーケティング・マネジメントA

- I. マーケティング・マネジメントとは

1. 企業におけるマーケティングの役割
 2. 品質・サービス・価値を通じて顧客の満足を創り出すこと
 3. マーケット志向の戦略計画
- II. マーケティング機会分析
1. 消費者行動の分析
 2. 産業と競争企業の分析
 3. マーケット・セグメンテーションとターゲット・マーケットの設定
- マーケティング・マネジメントB
- I. マーケティング戦略の開発
1. 差別化とポジショニングの戦略
 2. 製品ライフサイクルとマーケティング戦略
 3. 競争ポジションと戦略
- II. マーケティング・プログラムの計画
1. 製品ライン、ブランド、パッケージング
 2. 価格
 3. 流通チャネル
 4. コミュニケーション
- III. マーケティング・エフォートの管理
1. マーケティング活動の実行・評価・コントロール

【評価方法】 定期試験の成績に、出席状況を加味して評価する。

【テキスト】 P.コトラー著（村田昭治監訳）『マーケティング・マネジメント 第7版』プレジデント社、1996年
 和田充夫・恩蔵直人・三浦俊彦著『マーケティング戦略（新版）』有斐閣、2000年

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71701 71703	管理会計論A・B	営:選・B 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	斎藤 孝一
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 企業会計は、財務会計と管理会計に大別することができる。このうち、財務会計は、投資家や債権者等の企業外部の利害関係者の意思決定に有用な会計情報を提供することを目的としている。これに対し、管理会計は、企業内部の経営者や管理者等に、経営管理上の意思決定や業績評価に必要な会計情報を提供することを目的としている。より具体的には、原価計算の問題、経営管理上の意思決定問題、予算についての問題、業績評価の問題等を対象としている。

【講義計画】 本講義は、以下に示す計画に従って、講義を進める予定である。

1. 経営管理と情報：経営計画と統制のサイクル、プロフィットセンターとコストセンター
1. 目的別の原価諸概念：管理会計担当者の役割と必要情報
1. 不確実情報における意思決定：感度分析、意思決定のための統計
1. 原価計算制度：原価計算制度の意義、標準原価と意思決定
1. 予算制度：現金収支予算、資本予算、弾力性予算
1. 責任会計と貢献分析：責任会計、貢献分析と経営意思決定
1. 原価と価格政策：習熟曲線、直接原価計算
1. 研究開発費：研究開発費、製造設備の代替、リードタイム
1. 秘匿原価：情報ギャップ

【評価方法】 出席率、授業態度等を考慮して総合的に評価する。

【テキスト】 適宜指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71709 71711	経営分析論A・B	営:選・B 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	斎藤 孝一
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 経営分析は、財務諸表分析、あるいは財務分析とも呼ばれているように財務諸表に記載されている会計データを分析することによって企業の業績の内容を評価することを目的としている。財務諸表は、様々な企業内外の利害関係者に重要な情報を提供している。債権者は企業の返済能力に関心があり、投資家は、企業の発行する有価証券の価値判断を行うために、財務的な能力に関心を持っている。また、経営管理者は、実際の業績と予算や標準との比較、企業内の各部門の業績評価など、財務的な業績の分析を必要としている。

【講義計画】 本講義は、以下に示す計画に従って、キャッシュ・フローの分析を中心に講義を進める予定である。講義は、次のような内容を取り上げる予定である。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 経営分析の意義と方法 | 1. 会計データの収集 |
| 1. 会計データの限界 | 1. 平均財務諸表と百分率財務諸表 |
| 1. 成長性の分析 | 1. 健全性の分析 |
| 1. 収益力の分析 | 1. 営業利益の分析 |
| 1. 売上総利益と販売管理費の分析 | 1. 財務体質の分析 |
| 1. 財務流動性の分析 | 1. 財務安定性の分析 |

【評価方法】 期末試験を中心として、出席率、教授態度等を考慮して総合的に評価する。

【テキスト】 鎌田信夫・斎藤孝一著『現金収支分析の新技术』（中央経済社）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71713 71715	税務会計論A・B	営:選・B 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	藤井 達敬 他
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 社会における税金の役割と税務と会計との関係を理解させ、会計上必要な税務の基礎的知識・技術を習得させることを目的とする。日本公認会計士協会東海会所属の会計士グループにより、国税・地方税および国際税務の諸問題について講義する。
会計原理および財務会計論を履修済みの学生（約40名）を対象とする。

【評価方法】 レポート

【テキスト】 その都度、資料を配布する。

【その他】

前期			後期		
4/11	税務会計の基礎	木造真博	10/3	所得税	竹尾雅芳
4/18	税務会計の基礎	木造真博	10/10	所得税	竹尾雅芳
4/25	税務会計の基礎	木造真博	10/17	所得税	竹尾雅芳
5/9	法人税1	水野信勝	10/24	所得税	竹尾雅芳
5/16	法人税1	水野信勝	10/31	国際税務	毛利弘基
5/23	法人税1	水野信勝	11/7	国際税務	毛利弘基
5/30	法人税1	水野信勝	11/14	国際税務	毛利弘基
6/6	消費税	山内和雄	11/21	国際税務	毛利弘基
6/13	法人税2	山内和雄	11/28	資産税	岡本政廣
6/20	法人税2	山内和雄	12/5	資産税	岡本政廣
6/27	法人税2	山内和雄	12/12	資産税	岡本政廣
7/4	法人税2	山内和雄	12/19	資産税	岡本政廣
			1/9	地方税	岡本政廣

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71725 71727	経営戦略論A・B	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	姜 秉 国
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 企業を取り巻く環境の激しい変化の中で、企業が打ち出す戦略は、時には組織の存亡にまでかかわることがある。経営戦略について学ぼうとするとき、ケースを用いるのは有効な方法であるが、成功事例から我々が本質的に学べるものは少ない。むしろ、失敗の実態を明らかにしてその教訓を十分かつ明確に学び取るこそ、将来の糧になる。このようなスタンスから、本講義では、主に、人間はなぜ同じ失敗を繰り返すのかに焦点を当てつつ、様々な事例に潜んでいる失敗の構造について学ぶことを目的とする。

【講義計画】 まず、組織的意思決定における本質的諸特性および問題について多面的な考察を行う。そして、個々の事例を取り上げながら戦略分析の枠組みについて議論する。そのあと、具体的な事例分析を通して戦略分析の手法を身につける。戦略の形成と分析には、経営学の様々な知識とスキルが総動員される。将来、戦略コンサルタントを目指す人にも役立つ実践的な内容で進めていきたい。より具体的な講義計画については授業の最初の時間に示す。

【評価方法】 試験、発表、レポート、出席を総合して評価する。

【テキスト】 適宜指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71733	オペレーションズ・リサーチA	営:自由 国:自由	春学期	2	3・4	穴 太 克 則
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 情報管理学科講義概要 75521 オペレーションズ・リサーチ概論Ⅰ 参照

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71735	オペレーションズ・リサーチB	営:自由 国:自由	夏期集中	2	3・4	穴 太 克 則
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 情報管理学科講義概要 75601 オペレーションズ・リサーチ概論Ⅱ 参照

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71791 71792	現代産業論（総合商社論）1・2	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	松 井 清 治
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 日本の総合商社は、外国に類例を見ない独特な企業形態をもち、地球規模で活動している国際総合事業会社である。日本経済の発展とともに、貿易を中心とした商取引にとどまらず、時代と市場のニーズに対応して金融・物流・コンサルティングなど多様な機能を開発して、あらゆる産業分野にわたり事業投資活動を展開・拡大してきた。

総合商社は、明治初期に誕生したが日本の近代化、とくに第二次大戦後の経済・産業発展の縮図と言え

るであろう。IT（情報技術）の発達でグローバルな情報化時代を迎え、また激変する内外の環境に対応して、総合商社はその機能と役割をどのように位置づけ、またどのような企業戦略を展開して行くのか、改めてその存在価値が問われている。

そこで、日本の経済・貿易動向、経済協力および地球環境問題などについて考察しながら、「総合商社とは何か」、現状と課題および21世紀の将来像を展望する。

【講義計画】

1. 総合商社とは：総合商社の特徴、活動と機能、商社の役割、経営組織
2. 日本経済と総合商社機能の変遷：明治初期から今日までの日本経済の発展と商社の活動
3. 世界経済と総合商社の活動：世界貿易と商社の活動、国際協力への取り組み
4. 総合商社と6大企業集団：再編成が進む企業グループと総合商社の関係
5. 総合商社の経営戦略と将来像：グローバル化の進展と日本の経済構造改革への対応

授業では、国際通商問題、地球環境問題あるいは日本の経済協力における商社の役割や活動のトピックスも取り上げ、またビデオによる商社活動の事例や35年余の商社の実務体験談などを交えて、国際ビジネスの実態に触れることとする。学生諸君が履修する国際経済学、国際経営論など関連科目の参考になることを目標としている。

【評価方法】

授業への参加度(出席状況、質疑応答など)と期末にレポートの提出を求める。

【テキスト】

レジュメ「総合商社論」を配付、関連資料を随時配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71794 71795	現代産業論（都市銀行論）1・2	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	高木 夏樹
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】

都市銀行の金融機能、収益構造を踏まえ、激変する経営環境と金融自由化に伴う業務内容の変化、経営戦略について研究する。

【講義計画】

- 第1回 銀行の金融機能
- 第2回 我が国の金融システム
- 第3回 短期金融市場とは
- 第4回 金融政策と都市銀行
- 第5回 企業分析と与信判断
- 第6回 国際金融リスク
- 第7回 国際金融1 資金環流
- 第8回 国際金融2 シンジケートローン
- 第9回 国際金融3 国際証券
- 第10回 デリバティブ
- 第11回 リスク管理とALM
- 第12回 日本版ビッグバン
- 第13回 これからの都市銀行像

【評価方法】

レポート提出

【テキスト】

講義の際、配布予定。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71797 71798	現代産業論（損害保険論）1・2	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	清登 緑郎
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】

産業が高度に近代化した現代社会において、我々の日常の経済活動・社会生活に於ける「危険」は極めて多様化し、巨大化している。このような環境下で、損害保険は企業・団体・個人の諸活動に不可欠な役割を果たしている。また、近年はあらゆる分野での国際化・規制緩和が進んでいるが、損害保険も例外ではなく、自由化の大きな波に見舞われている。本講座では損害保険の実務・実態にも触れながら保険理論

について講義し、損害保険事業に対する正しい認識の習得を目指す。

- 【講義計画】 上述の目標に向けて、
 (1) 損害保険の原理・仕組み・機能を法律・経済学の視点から多角的なアプローチを行う。
 (2) 日本損害保険業界の現状分析と主要商品の研究を行う。
 (3) 自由化・規制緩和の現状と今後の方向性について研究を行う。
 という諸点を中心に講義を進めていく予定である。
 極力平易で理解しやすい内容の講義を展開するので、全受講生の積極的な取組を期待する。

【評価方法】 レポートの提出を求める。

【テキスト】 「講義用レジメ」を中心に、講義を進める。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71800 71801	現代産業論（電子・電機産業論）1・2	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	三田 良治
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 激しく進化するエレクトロニクス産業界で、日本の電子・電機企業の発展プロセス、現状と業界がかかえている経営課題を解説し、厳しい国際競争の中で生き残るための将来展望を考える。
 生産・販売・研究開発・新規技術・物流・環境問題・国際協調・合掌連衡等、「話題」を中心に「現場」の課題、実態を解説する。
 加えて、実社会で必要な経済・経営の知識を理解させる。

- 【講義計画】
- ★ エレクトロニクス産業の変遷
 - ★ 世界のエレクトロニクス産業
 - ★ 日本のエレクトロニクス産業
 - ★ 主要商品の技術動向
 - ★ 代表的企業の経営分析
 - ★ グローバル化の歴史
 - ★ インターネット革命
 - ★ 業界の話題・トピックス

【評価方法】 レポートと出席率（60%以上）

【テキスト】 随時、プリント・資料を配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71803 71804	現代産業論（自動車産業論）1・2	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	願興寺 皓之
他の科目との関連						他学科履修 可

【副題】 「日本の自動車産業の特質と課題」

【講義内容】 日本の自動車産業は今、量的にも質的にも一つの転換期を迎えつつある。一方では、国内生産についてこれ迄の様な右肩上りの成長が期待できず、他方では、海外生産の拡大により国際関係も単なる通商関係を超えて各国の産業社会政策も含めたものへと深化しつつある。
 こうした経営環境変化の中で、自動車産業はどのような歴史的変質を迫られているのか。また、完成車メーカーを中心に今どういう取組みが進められているのか。こうした視点からの産業の実像をトヨタを例に整理し、その中から中長期的な問題点と課題を抽出し対応の方向を考えてみたい。

【講義計画】 全体を2つに区分し、春、秋学期それぞれ12回で構成する。
 春学期については、自動車産業についての基本的な事実関係を確認した上で、それに相応しい産業の役割なり責任について、80年代の米国の空洞化と90年代の再出発を例に具体的に考える。
 次いで、戦後の産業形成過程を製造販売そして労使関係の側面からレビューし、自動車産業の特質を明

らかにする。

秋学期については、現在自動車産業が直面する課題を中長期的視点から整理し、将来に向けて健全な産業活動を持続していくための収益構造改革や商品企画・営業の革新そして環境との共存など様々な経営課題を、経営リソースを構成する3要素すなわち人、モノ、金の3つの視点から考えていく。

【評価方法】 毎回講義終了時に提出する自由意見と、テーマレポートから評価する。なお出席回数も参考とする。

【テキスト】 レジメを講義時に配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71806 71807	現代産業論（起業論）1・2	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	竹村 博文 上野 允久
他の科目との関連						他学科 履修可

【講義内容】 米国は、80年代の長期不況をベンチャー企業の勃興により克服し、その後長期にわたる好景気を牽引している。

21世紀を迎えるに当たり、高度成長が終焉を迎えたわが国も、新しい産業構造への変化と景気回復はベンチャー企業の生成と勃興にかかっている。

わが国ベンチャー企業の最新の状況と具体例をもとに、米国事情とも対比しつつ具体的に解説する。

【講義計画】

- 第1回 ベンチャーとは何か（起業論概論）
 1、講義のねらい…「起業」を目指す動機づけ、きっかけを作る
 2、講義の進め方
 3、起業・ベンチャービジネスの定義
 4、ベンチャービジネスを「起業」する意義
- 第2回 ベンチャーには何が必要か
 1、経営資源
 2、起業家精神 Entrepreneurship
 3、起業プロセス
- 第*3回 日本における起業の現状と会社の作り方
 1、日本の中小企業
 2、日本における起業の現状
- 第*4回 会社設立のポイント
 1、会社設立のポイントは何か
 2、会社設立スケジュール
- 第*5回 株式と資本政策の基礎
 1、会社設立と資本政策概観
 2、留意すべき法的ポイント
- 第6回 ベンチャー企業の成長プロセス
 1、企業のライフサイクル
 2、ベンチャー経営の特徴
 3、ベンチャー企業の成長プロセスの最近の変化
- 第7回 ベンチャー企業の支援体制
 1、わが国のベンチャー企業支援政策の変遷
 2、ベンチャー企業に対する公的支援施策
- 第8回 ベンチャー企業の資金調達とベンチャーキャピタル
 1、株式と社債
 2、ベンチャーキャピタルとは
 3、ベンチャーキャピタルからの資金調達
- 第9回 株式公開について
 1、株式公開とは
 2、わが国の株式公開市場
 3、株式公開へ向けてなすべきこと
- 第*10回 資本政策の具体的事例を考える
 1、Equity Fainanceの種類と特徴
 2、関係者と留意点
- 第*11回 株式公開事例研究
 1、具体的事例の解説
- 第12回 ケーススタディ（1）
 1、日本のベンチャー企業の成功例・失敗例
- 第13回 ケーススタディ（2）

1、米国のベンチャー企業
 (注) 回数欄に*印がついている分は、上野講師担当分

【評価方法】 レポート1回の提出
 1回目 テーマを与える
 提出枚数 各回本文 A4ワープロ作成 2枚以上3枚以内

【その他】 講義のつど、配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71809 71810	現代産業論（先輩経営者と語る）1・2	営:自由 国:自由	春学期 秋学期	各2	3・4	藤井 達敬 他
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 南山大学の卒業生で、企業経営の第一線でオーナー経営者として活躍している先輩が学生に語りかける。創業者であり、2代目経営者ありの布陣であるとともに、スモール・ビジネスのオーナーであるが、いずれも日々の判断がその企業に大きな影響をもつ人達が豊富な経験にもとづいて経営論、人生論を講義する。

【講義計画】

	講義日	講師 卒業年次	会社名 業種	役職	講義テーマ
1	4月17日 10月2日	森 伸生 H10院	白銀屋(株) ガラス販売業	社長	可能性への挑戦 ～創造的人生の序曲～
2	4月24日 10月9日	山本 光子 S54南山短大	ピープルスタッフ(株) 人材派遣業	専務 取締役	企業が求める人材
3	5月1日 10月16日	九鬼 綾子 S53米	ミックインターナショナル(株) 外国語サービス	社長	資本金 100万円で作った会社
4	5月8日 10月23日	尾関和成 S47営	(有) 柏瀬紙店 美術・小間紙	社長	ふすま紙って知ってる？
5	5月15日 10月30日	松本吉正 S29仏	(株) 若尾総合舞台 舞台TVの演出・照明・音響・美術	プロデューサー	二兎を追って…
6	5月22日 11月6日	佐藤久美 S51米	ナゴヤアベニューズ 英文雑誌編集・発行	代表	外国人ライターから見た 名古屋・日本
7	5月29日 11月13日	林 薫 S38英文	(株) 大企 広告代理店	社長	ある広告マンの生きざま
8	6月5日 11月20日	小泉寿子 S44仏	(株) プロンプト コンピュータ教育	社長	仕事っておもしろい！ ～コンピュータとの出会い～
9	6月12日	武藤正行 S45営	桜木不動産コンサルタント 不動産鑑定士	社長	戦後の地価動向と不動産 鑑定士の役割
	11月27日	愛知孝夫 S37英文	(株) トーナーセキュリティ セキュリティ・ビジネス	代表 取締役	一歩前に入る生き方
10	6月19日 12月4日	佐々木功 S42営業	サンポッカサービス(株) 自動販売機商社	社長	つまるところ人と人
11	6月26日 12月11日	伊藤主計 S37文	本田技研工業(株) 自動車	元常務 取締役 ホンダ ヨーロッパ 社長	海外戦略と求められる人材
12	7月3日 12月18日	中神靖 S30社	中京テレビ放送(株) マスコミ	元取締役 営業局長	マスコミ界の50年
13	1月8日	後藤寿夫 S39英文	ゴトプラスチック(株) プラスチック製造	社長	他社より半歩、前に入る

【評価方法】 レポート

【テキスト】 その都度、配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71841) 71845	英語ビジネス論文作成指導1~5	営:不可 国:選	秋学期	各2	4	BINFORD Paul BREMER Marc IAQUINTO Anthony FENWICK Mark TANNER Paul
他の科目 との関連						他学科 履修 不可

【副題】 English Thesis Tutorial 1~5

【講義内容】 The purpose of this course is to assist management students who are writing their tutorial papers in English. Students will learn how to improve their English writing style and how to organize and format a long research paper according to standard manuscript guidelines.
Word processor skills are required. Lectures will be in English.

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the semester.

【評価方法】 Depending on the teacher, the following criteria may be used for deciding grades :
Attendance and Participation
All written work
Oral Reports

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 Texts to be decided by each teacher and announced later.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71851	外書講読	営:選必 国:不可	春学期	2	3	高橋 弘一
他の科目 との関連						他学科 履修 不可

【副題】 会計学の基礎を英語で学ぶ

【講義内容】 アメリカの初級会計学の学習手引書を使用して、会計の基礎概念や理論的なフレームワークを講読する。従って、この授業では、「会計原理」や「財務会計論」の初歩を英語で学ぶ、と理解してもらえばよい。毎回、予習が授業出席の条件である。

【講義計画】 講読内容の一部を例示すれば、以下のとおりである。

1. Elements of the Balance Sheet
2. Assets, Liabilities and Equities
3. Dual-Aspect Concept
4. Money Measurement Concept
5. Entity Concept
6. Going-Concern Concept
7. Cost Concept
8. Balance Sheet Items
9. Current Ratio

【評価方法】 授業中に示された学習努力と定期試験の結果を総合して評価する。授業の性格を考慮し、欠席時数が授業予定総時数の3分の1を越えるとき、成績評価は「欠席過多(S)」による不合格とする。

- 【テキスト】 テキスト：Anthony, Robert N., *A Review of Essentials of Accounting*, Addison-Wesley.
参考辞典：小川・鎌田編『現代英和会計用語辞典』同文館

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71911	国際ビジネス論Ⅱ	営:自由 国:必	通年	4	3	山田 正次	
他の科目との関連						他学科履修	不可

- 【講義内容】 経済学部経済学科講義概要 51765・51767 国際経済学Ⅰ・Ⅱ 参照

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71913	国際ビジネス論Ⅲ	営:自由 国:必	夏季集中 秋学期	4	3	井上 詔三	
他の科目との関連						他学科履修	可

- 【副題】 International BusinessⅢ

- 【講義内容】 国際ビジネスをめぐる経営環境について、国際ビジネス論Ⅱで学んだ成果をふまえて、多国籍企業(MNCs)の経営管理行動の諸側面について学ぶ。

- 【講義計画】 授業では、経営環境についての復習から始まり、海外進出の意思決定を含む多国籍企業の経営戦略、異文化経営、人的資源管理、その他グローバル経営をめぐる話題をとりあげます。下記の「テキスト」欄に示した、アメリカの大学で標準的に使用されている教科書から、いくつかの章を選んで使用します。履修者は、春学期の終了時に、経営合同研究室(N棟2階)で、教材を受け取り、夏期休暇中に読んでおかなければなりません。

- 【評価方法】 class participationは必須です。その上で、Mid-termテスト(20%、夏季集中終了時)、Assignment(20%、秋学期開始時提出)、Final-exam(60%)。

- 【テキスト】 Richard M. Hodgetts & Fred Luthans. 1994. *International Management(2nd ed.)*, McGraw-Hill.
Louis E. Boone & David L. Kurtz. 1993. *Contemporary Business(7th ed.)*, Dryden.
Betty Jane Punnett & David A. Ricks. 1991. *International Business*, PWS-Kent.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71916) 71919	英語Ⅲ(論文作成法)1~4	営:不可 国:必	春学期 秋学期	各4	3	YASUDA Karen HOWREY John	
他の科目との関連						他学科履修	不可

- 【副題】 Academic Writing

- 【講義内容】 The goal of this course is to write a research paper of at least 2,500 words. The purpose is to develop the skills necessary to write a research paper. There will be activities and discussions designed to help students choose, focus on, organize, develop, and research their topics. Library research and documentation of sources will be emphasized. All homework, including the final paper, must be typed.

- 【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of each semester.

- 【評価方法】 The following criteria will be used for deciding grades.

- Attendance and punctuality
- Class participation
- Quizzes
- Homework
- Final research paper
- Oral report on research topic

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of “S” (excessive absence).

【テキスト】 The texts will be decided by each teacher and will be announced later.

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
71921 } 71924	テーマ・ディスカッション1~4	営:不可 国:必	春学期 秋学期	各4	3	MASON Paul CATTO Sarah W.
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 Theme Discussion

【講義内容】 The purpose of this class is to develop high-level discussion and oral presentation skills needed for success in university classes and the business world. Most classroom time will be spent analyzing and discussing business cases. During the semester students may have to do at least one formal presentation in English. Because this is an oral skills course, regular attendance and active participation in English are extremely important.

【講義計画】 Lesson plans may differ with each teacher and will be explained at the beginning of each semester.

【評価方法】 The method of evaluation differs with each teacher, but any of the following may be used to decide student grades :

- Attendance and punctuality
- Class participation
- Oral presentations
- Quizzes and exams
- Homework
- In-class compositions

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of “S” (excessive absence).

【テキスト】 No text is yet assigned, but one may be assigned at a later date.

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
71926 71927	国際経営基礎研究1・2	営:不可 国:必	春学期 秋学期	各2	3	大 津 誠
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 International Business Research Methods

【講義内容】 このクラスの目的は、国際経営研究1～5で作成する英文のペーパーを“研究論文”として仕上げるための基礎的手法を身につけることである。国際経営の分野における英文による実証的研究論文の多くは、一定の研究手法論に従って作成されている。そこでこのクラスでは、これらの論文を理解し、研究計画を設計するための第一歩として、経営学の標準的研究方法について学ぶ。主なトピックスは問題設定、文献調査、仮説設定、データ収集、データ分析などである。

【講義計画】

1. Research in Business
2. Scientific Thinking

3. The Research Process
4. Research Proposal
5. Design Strategies
6. Measurement
7. Scaling Design
8. Survey Methods
9. Survey Instruments
10. Experimentation
11. Presenting Results

【評価方法】	報告・討論	30
	中間テスト	30
	定期試験	40
		100

【テキスト】 C. William Emory, *Business Research Methods*, 5th ed. Irwin, 1995.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71931	国際経営研究1	営:不可 国:必	通年	4	4	大津 誠	
他の科目との関連	国際経営基礎研究の履修を前提とする。同時に4年秋学期開講の英語ビジネス論文作成指導を履修すること。					他学科履修	不可

【副題】 Research Seminar 1

【講義内容】 このクラスの目的は、経営戦略 (Strategic management) のアプローチによるケース分析を行い、それを内容とする英文による tutorial paper を作成することにある。したがって春学期では経営戦略に関する代表的なアメリカのテキストを輪読 (グループ発表) し、ケース分析の手法を身につける。春学期終了時までに各自の興味にしたがってケースの対象となる企業 (又はその他の団体) を決定する。夏休み中に、選んだ企業の直面する諸問題について資料収集を行う。秋学期は春学期中に学習したケース分析の手法により、選んだ企業のとるべき戦略について分析する。毎回3人のペースで個人発表を行う (発表のスケジュール表は秋学期の初日に配布する)。尚このクラスは必修科目であるから正当な理由がない限り欠席を認めない。

【講義計画】

春学期

第1週	Ch.1	Introduction to Strategic Management
第2週	Ch.2	Environmental Analysis
第3週	Ch.3	Establishing Organizational Direction
第4週	Ch.4	Strategy Formulation
第5週	Ch.5	Strategy Implementation
第6週	Ch.6	Strategic Control
第7週	Ch.7	Strategic Management in International Operations
第8週	Ch.8	Strategic Management : Social & Ethical Dimensions
第9週	Ch.9	Operating Foundations
第10週	Ch.10	Financial Foundations
第11週	Ch.11	Marketing Foundations
第12週	Ch.12	A Comprehensive Approach to Analyzing Strategic Problems & Cases

秋学期

第1週～第12週 個人発表

【評価方法】	出席及び参加 (通年)	24 (1点×24回)
	グループ発表 (春学期)	12 (3点×4回)
	Progress Report (7月28日)	8
	個人発表 (秋学期)	18 (6点×3回)
	Tutorial paper (1月31日)	40
	計	100

Tutorial paperは1月31日までに教務課に提出のこと。

【テキスト】 Samuel C. Certo & J. Paul Peter, *Strategic Management : A focus on Process (2 nd ed.)*, Irwin, 1993 .

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71932	国際経営研究2	営:不可 国:必	通年	4	4	井上 詔三	
他の科目との関連	英語ビジネス論文作成指導を必ず履修すること。					他学科履修	不可

【副題】 International Business Research Seminar 2

【講義内容】 国際経営の分野のうちHuman Resource Management/Industrial Relationsの領域で、英文によるtutorial paperの作成を目的とする。そのために先ず国際経営基礎研究で学習した「研究方法論」に基づいて、経験的研究を行ったHRM/IRの代表的論文を読解する。次にこのプロセスを通じて各自のテーマを決定し、テーマについての体系的文献調査を行う。最後にその結果を30ページ以上のtutorial paperにまとめる。したがってpaperの内容は第一義的には文献調査を想定している。なお、個々の学生の興味・進捗によるが、文献調査の後に記述的研究や、データ収集・分析を要する実証的研究を試みることを推奨する。

【講義計画】

1. Introduction : The Research Process
2. Literature Review
3. Problem Formulation
4. Designing the Study
5. Writing the Paper (12月末までに草稿を3回作成する)

【評価方法】 1. 報告・討論 2. research proposal 3. tutorial paperによる。Tutorial paperは2002年1月31日までに教務課に提出のこと。

【テキスト】 Lawler, John, and others 1989. "Human Resource Strategies in Southeast Asia," *Research in Human Resource Management, suppl. 1*, JAI Press, pp. 201-221. 他、英文の研究論文を配布。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71933	国際経営研究3	営:不可 国:必	通年	4	4	加藤 英明	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 Research Seminar 3

【講義内容】 The objective of this seminar is to write a tutorial paper in English in the areas of management. Students will prepare to write this paper by reading selected articles on business and economics.

【講義計画】 This will be a seminar course. Students will write a proposal that describes their idea for a tutorial paper. Finally, students will write a tutorial paper of 30 pages or more. Each student will present his or her paper.

【評価方法】 Evaluation will be mainly based on completion of the tutorial paper as well as seminar participation. The Tutorial paper must be submitted to Kyomuka by January 31, 2002.

【テキスト】 This seminar does not have a required textbook.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71934	国際経営研究4	営:不可 国:必	通年	4	4	BREMER Marc	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 Research Seminar 4

【講義内容】 The objective of this seminar is to write a tutorial paper in English in the areas of international financial management, banking or capital markets. Students will prepare to write this paper by reading selected articles on finance and banking.

【講義計画】 This will be a seminar course. The seminar will start with students reading and presenting articles in finance and banking. Students will then write a proposal that describes their idea for a tutorial paper. Finally, students will write a tutorial paper of 30 pages or more. Each student will present his or her paper.

【評価方法】 Evaluation will be mainly based on completion of the tutorial paper although seminar participation will also be considered. The tutorial paper must be submitted to *Kyomuka* by January, 2002.

【テキスト】 This seminar does not have a required textbook. However, students will find the following books to be a good foundation for the seminar :
 Gordon J. Alexander and William F. Sharpe, *Fundamentals of Investments*, Prentice Hall.
 Richard A. Brealey and Stewart C. Myers, *Principles of Corporate Finance*, 6th edition, McGraw Hill
 Thomas E. Copeland and J. Fred Weston, *Financial Theory and Corporate Policy*.
 David K. Eiteman, Arthur I. Stonehill and Michael H. Moffett, *Multinational Business Finance*, Addison Wesley.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71935	国際経営研究5	営:不可 国:必	通年	4	4	IAQUINTO Anthony	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 Research Seminar 5

【講義内容】 This seminar is intended to prepare students to write a major research paper in international business. Students will be exposed to basic research methods and the process of organizing and writing a major paper of 30 pages or more.

【講義計画】 This course will consist of lectures in English.

【評価方法】 Research paper due on *January 31, 2002*. To be submitted to *Kyomuka*.

【テキスト】 Reading List

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71945	北米における経営	営:自由 国:選必	夏期集中	4	3・4	辻 正次	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 経済学部経済学科講義概要 51791・51793 アメリカ経済論Ⅰ・Ⅱ 参照

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
71953	経営財務論A2 [国際コース]	営:不可 国:選必	春学期	4	3・4	BREMER Marc	
他の科目との関連	71546・71548経営財務論A・Bとの重複履修は認めない。					他学科履修	可

【副題】 Management Financial Theory (Corporate Finance)

【講義内容】 This course explores the tools and concepts of corporate finance. Specific topics covered will include time value of money, risk, return, cost of capital, capital budgeting and working capital management. Students are required to read business periodicals and to keep up with current business events. Regular attendance is required. Lectures will be in English.

Assignments and exams should be written in English, but it is acceptable to use Japanese.

【講義計画】

- 1 Stocks, Bonds, and Financial Statements
- 2 Present Value
- 3 Risk and Return
- 4 Working Capital Management
- 5 Exchange Rates and Financial Management

【評価方法】 Grades will be determined on a relative basis with weights as follows :
Attendance/Class Participation 10% ; Homework 20% ; Midterm Exam 30% ; and Final Exam 40 %.

【テキスト】 Richard A. Brealey & Stewart C. Myers , *Principles of Corporate Finance*

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71955	国際人事管理論	営:自由 国:選必	春学期 夏期集中	4	3・4	井上 詔三
他の科目との関連	経営労務論（国際コース）の履修が望ましい。					他学科履修可

【副 題】 International Human Resource Management

【講義内容】 The purpose of this course is to explore the relationships between human resources, employee relations, and company economic success, both from practical and theoretical points of view. The course first explores the foundations of international human resource management, then focuses on the similarities and differences among global companies in terms of human resource management styles.

【講義計画】

Topic

1. Introduction
Going International
Control Issues in International Companies
2. Human Resource Management in International Companies
Strategic Orientation
3. Globalizing Management
Management Styles-similarities/differences
The Best Practice?
4. Current Issues
Japanization?
Global Alliances
“International Labour Standards”
5. New challenges for Japanese *Multinationals*

【評価方法】 There will be two examinations : one midterm examination worth 30 percent of the final grade and a final examination worth 50 percent. The remaining 20 percent of your grade will come from several written assignments which will be discussed further in class.

【テキスト】 A. M. Rugman and R. M. Hodgetts, *International Business*, McGraw Hill, 1995. 他から抜粋。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
71957	国際財務論B2 [国際コース]	営:不可 国:選必	秋学期	4	3・4	BREMER Marc
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 International Financial Management

【講義内容】 This course deals with international financial markets and with the international dimensions of corporate financial management. The fundamental issue is how to deal with exchange rate movements.

Lectures, exams and assignments will be in English. Assignments and exams should be written in English, but Japanese is also acceptable. Attendance is required.

【講義計画】

- 1 Cash and Spot Exchange Markets
- 2 Forwards, Futures and Options
- 3 Purchasing Power and Interest Parity
- 4 Foreign Exchange Risk and Exposure
- 5 How to Hedge and Speculate
- 6 Transfer Pricing and Country Risk
- 7 Foreign Direct Investment
- 8 The Instruments and Organization of International Trade

【評価方法】 Attendance/Class Participation 10% ; Homework/Case Studies 20% ; Midterm Exam 20% ; and, Final Exam 50%.

【テキスト】 David K. Eiteman, Arthur I. Stonehill and Michael H. Moffett, *Multinational Business Finance*, 9th ed. Boston : Addison Wesley.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
71959	日本の経営	営:自由 国:選必	秋学期	4	3・4	BRYER Philip
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 Japanese Business

【講義内容】 This is a course on Japanese business and management designed primarily for students enrolled in the International Course. After a brief review of the historical development of Japanese business institutions from the Tokugawa era through the 1960's, the class will examine contemporary Japanese business and management practices.

Major topics will include the political, economic and international environment of business, industrial structure, decision-making processes, personnel practices, labor management relations, distribution systems, and financial markets. Throughout the course a central question will be addressed : What are the strengths and weaknesses of "Japanese style management" ?

【講義計画】 This course will consist of lectures in English.

【評価方法】 One midterm and final examination.

【テキスト】 Reading List.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71963	国際マーケティング論	営:自由 国:選必	秋学期	4	3・4	IAQUINTO Anthony
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 International Marketing

【講義内容】 This course covers some of the major topics in international marketing, including international marketing research, pricing, promotion, distribution, and product development.

【講義計画】 This course will consist of lectures in English.

【評価方法】 One midterm and one final examination.

【テキスト】 Reading List.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71971 71973	ビジネス英語A1・B1	営:自由 国:選	春学期 秋学期	各2	3・4	FENWICK Mark
他の科目との関連						他学科履修可 経営学部のみ可

【副題】 Business English

【講義内容】 Students may take either or both sections. Content will vary depending on class needs. Topics may include (1) how to give an effective business presentation using an OHP (overhead projector), blackboard, whiteboard, or handout; (2) how to conduct and participate in business meetings, including starting, contributing to, and closing the discussion; and (3) how to conduct interviews for hiring, evaluating, and collecting data. The class may also include practice in writing business letters. Prerequisites: Open to 3rd and 4th year business students. A 2.5 or higher GPA in English I and II (Conversation) or Sogo English I and II, or the approval of the instructor. A TOEFL Section I (Listening Comprehension) score of 48 or higher is strongly recommended. Enrollment: Limited to 40 students each semester.

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.

【評価方法】 Any of the following criteria may be used in deciding grades:

- Written Examination
- Oral Examination
- Oral Report (s)
- Written Report (s)
- The use of reference materials is possible.
- Audiovisual Equipment for evaluation might be necessary
- Other methods of evaluation to be decided by the teacher

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of “S” (excessive absence).

【テキスト】 Business objectives pairwork, by John Bradley and Simon Clark, Oxford University Press.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
71972 71974	ビジネス英語A2・B2 (TOEIC Preparation)	営:自由 国:選	春学期 秋学期	各2	3・4	PETERSEN Scott
他の科目 との関連						他学科履修のみ可

【副 題】 Business English

【講義内容】 This course is designed to prepare students to take the TOEIC (Test of English for International Communication). The TOEIC is now being used by many companies for recruitment. Students will become familiar with the overall format of the test and will learn strategies and skills to improve their test scores.

Prerequisites : Open to 3rd and 4th year students. A 2.5 or higher GPA in English I and II (Conversation) or Sogo English I and II, or the approval of the instructor. A TOEFL Section I (Listening Comprehension) score of 48 or higher is recommended. Enrollment is limited to 40 students.

Note : In the second class meeting, students will take a shortened version of the test. It is therefore essential that you come to the second class meeting on time.

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of each semester.

【評価方法】 —Attendance and performance in class
—Two examinations

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 The textbook will be announced at a later date.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
71981) 71987	時事英語A～G	営:自由 国:選	春学期 秋学期	各2	3・4	PETERSEN Scott BINFORD Paul TANNER Paul FENWICK Mark
他の科目 との関連						他学科履修可

【副 題】 Current Topics

【講義内容】 The course will develop and practice speaking, listening and reading skills. Topics will be chosen by the class. Depending upon the topic chosen, each student will select articles from newspapers, magazines, and journals according to his/her interests.

The student is responsible for explaining and listening to presentation by other students. Active participation in discussions is required. There may also be a semester project.

【講義計画】 The syllabus will be explained at the beginning of the course.

【評価方法】 The method of evaluation differs with each teacher. The possibilities are as follows :

- Written Examination
- Oral Examination
- Oral Report (s)
- Written Report (s)
- The use of reference materials is possible.
- Audiovisual equipment for evaluation might be necessary
- Other methods of evaluation to be decided by each teacher

If students are absent from more than one third of the total number of scheduled class sessions, they will receive a failing grade of "S" (excessive absence).

【テキスト】 No text required.

※ 以下の科目については、経済学部 の講義概要を参照してください。

科目コード	科 目 名	指定	期間	単位	年次	担 当 者
51735	金融論Ⅰ	営:自由 国:自由	春学期	2	3・4	荒 井 好 和
51737	金融論Ⅱ	営:自由 国:自由	秋学期	2	3・4	荒 井 好 和
51765	国際経済学Ⅰ	営:自由 国:自由	春学期	2	3・4	山 田 正 次
51767	国際経済学Ⅱ	営:自由 国:自由	秋学期	2	3・4	山 田 正 次
51751	産業組織論A	営:自由 国:自由	秋学期	2	3・4	上 田 薫
51753	産業組織論B	営:自由 国:自由	秋学期	2	3・4	上 田 薫
51851	商法Ⅰ	営:自由 国:自由	春学期	2	2~4	田 中 裕 明
51855	商法Ⅱ	営:自由 国:自由	秋学期	2	2~4	田 中 裕 明
51741	労働経済学Ⅰ	営:自由 国:自由	春学期	2	3・4	岸 智 子
51743	労働経済学Ⅱ	営:自由 国:自由	秋学期	2	3・4	岸 智 子
51841	民法Ⅰ	営:自由 国:自由	春学期	2	2~4	松 倉 耕 作
51845	民法Ⅱ	営:自由 国:自由	秋学期	2	2~4	松 倉 耕 作
51871	労働法Ⅰ	営:自由 国:自由	春学期	2	3・4	唐 津 博
51875	労働法Ⅱ	営:自由 国:自由	秋学期	2	3・4	唐 津 博
51861	経済法Ⅰ	営:自由 国:自由	春学期	2	3・4	田 中 裕 明
51865	経済法Ⅱ	営:自由 国:自由	秋学期	2	3・4	田 中 裕 明
51881	行政法Ⅰ	営:自由 国:自由	春学期	2	3・4	栗 本 雅 和
51885	行政法Ⅱ	営:自由 国:自由	秋学期	2	3・4	栗 本 雅 和